

特定健診・特定保健指導システム構築に当たってのファイル仕様等のバージョン

●健診等データの電子的管理（特定健診・特定保健指導）

1. 特定健診・特定保健指導のファイル仕様

種別	バージョン	通知日付	ファイル名	備考
送付用アーカイブファイル仕様	3	2017. 03. 31	arc_doc_v3. pdf	圧縮ファイルZIP形式
交換用基本情報ファイル仕様	3	2017. 03. 31	ix08_doc_v3. pdf	
集計情報ファイル仕様	3	2017. 03. 31	su08_doc_v3. pdf	
決済情報ファイル仕様（特定健診）	3	2017. 03. 31	cc08_doc_v3. pdf	
決済情報ファイル仕様（特定保健指導）	3	2017. 03. 31	gc08_doc_v3. pdf	
特定健診情報ファイル仕様	3	2017. 03. 31	cc18_doc_v3. pdf	
特定保健指導情報ファイル仕様	3	2017. 03. 31	hg18_doc_v3. pdf	

2. 健診検査・保健指導項目コード表

種別	バージョン	通知日付	ファイル名	備考
XML用特定健診項目情報	—	2017. 03. 31	XMLhc18tab. pdf XMLhc18tab. csv	「特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式の仕様に関する資料」の付属資料2
XML用特定保健指導項目情報	—	2017. 03. 31	XMLhg18tab. pdf XMLhg18tab. csv	「特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式の仕様に関する資料」の付属資料3

※ 支払基金では、特定健診・保健指導システムにおける電子的標準様式のチェックを、基本的には上記のバージョンで作成しております。今後、各仕様のバージョンが変更となった場合でも、特定健診・特定保健指導システムは上記バージョンで対応させていただきます。

なお、今後、基本的事項を変更する必要がある場合は、関係者の皆様方と調整の上、特定健診・特定保健指導システムの改修を行うことといたします。

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
※ 最新バージョンに伴う国保独自のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
※ 既存の国保独自仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●提供用アーカイブファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・ファイル名が命名規則に準拠していない場合は請求データの送信を不可とする ・提供用アーカイブファイル（ZIP形式ファイル）が解凍できない等によりシステムに取り込めない場合は「受付無効（提出用アーカイブファイルごと受付不可）」とする ・ルートフォルダが存在しない場合は「受付無効」とする ・ルートフォルダ名が命名規則に準拠していない場合は「受付無効」とする ・ルートフォルダ配下に交換用基本情報と集計情報ファイル以外が存在する場合は「受付無効」とする ・ルートフォルダ配下に複数の交換用基本情報と集計情報ファイルが存在する場合は「受付無効」とする ・ルートフォルダ配下にデータファイルフォルダ（※DATA）が存在しない場合は「受付無効」とする ・データファイルフォルダ（※DATA）の配下にXMLファイルが存在しない場合は「受付無効」とする ・ルートフォルダ配下に決済情報ファイルフォルダ（※CLAIMS）が存在しない場合は「受付無効」とする ・決済情報ファイルフォルダ（※CLAIMS）の配下にXMLファイルが存在しない場合は「受付無効」とする ・以前に処理したものと同じアーカイブファイルを受付けた場合、もしくはアーカイブファイル名が同じものを受付けた場合は「受付無効」とする	請求データの送込エラー L1805 L1602 L1601 L1710 L1709 L1602 L1702 L1602 L1702 L1602 L1702 L1804	Web画面やクライアント業務によりファイル名不正のエラーとなる ZIPファイルをシステムに取り込めません。[ファイル名] フォルダが存在しません。[ルートフォルダ] ルートフォルダ名が誤っています。[ルートフォルダ名] [(桁数)桁目が(エラー理由)] ルートフォルダ配下に交換用基本情報ファイル、集計情報ファイル以外のファイルが格納されています。 ・交換用基本情報ファイルと思われるファイルが複数格納されています。 ・集計情報ファイルと思われるファイルが複数格納されています。 フォルダが存在しません。[DATA] フォルダ[DATA]配下にXMLファイルがありません。 フォルダが存在しません。[CLAIMS] フォルダ[CLAIMS]配下にXMLファイルがありません。 前回以前に受け付けたファイルと同一のファイルです。[ルートフォルダ名]
2次チェック	・受診者データ（特定健診データ・特定健診決済情報ファイル）又は利用者データ（特定保健指導データ・特定保健指導決済情報ファイル）が全て「受付不可」の場合、「受付無効」とする	L1703	ルートフォルダ配下の全てのファイルに受付エラーが検出されました。ルートフォルダ自体を受付無効にします。[ルートフォルダ名]

●交換用基本情報ファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・交換用基本情報ファイルのファイル名の先頭が「I」以外の場合は「受付無効（提出用アーカイブファイルごと受付不可）」とする ・文字コードが不正（UTF8以外）、又はXMLファイルとして認識できない場合は「受付無効」とする ・各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付無効」とする ・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付無効」とする ・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付無効」とする	L1702 L1802 L1101 L1203 L1202	フォルダ[ルートフォルダ名]配下に交換基本情報ファイルがありません。 交換用基本情報ファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名] [項目名]が記録されていません。 [項目名]が(形式名)形式で記録されていません。[値] 固定長：[項目名]が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長：[項目名]が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
2次チェック	・各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付無効」とする	下記参照	

ファイルの記録内容	項目（要素）名称	モード （形式）	最大 文字数	データ 形式	チェック可否		コード値 （国保取扱い分のみ）	2次チェック内容 （補足説明など）	エラー レベル	エラーコード	エラーメッセージ
					特定健診 （1）	特定保健 指導 （2）					
特定健診又は特定保健指導の交換用情報	種別	半角数字	2	可変	○	○	1：特定健診又は特定保健指導機関から代行機関（請求）	・1であること	受付無効	L1301	交換用基本情報ファイルの種別に誤ったコード値が記録されています。[値]
	送付元機関	半角数字	10	固定	○	○		・ルートフォルダの「健診等機関番号」と同じであること	受付無効	L1401	交換用基本情報ファイルの送付元機関[値]とルートフォルダの送付元機関[値]との関連が誤っています。
	送付先機関	半角数字	8	固定	○	○		・ルートフォルダの「代行機関番号」と同じであること	受付無効	L1401	交換用基本情報ファイルの送付先機関[値]とルートフォルダの送付先機関[値]との関連が誤っています。
	作成年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○					
	実施区分	半角数字	1	固定	○	○	1：特定健診 2：特定保健指導	・ルートフォルダの「種別コード」と同じであること ・左記のコード値の何れかであること	受付無効	1：L1401 2：L1301	1：交換用基本情報ファイルの実施区分[値]とルートフォルダの種別[値]との関連が誤っています。 2：交換用基本情報ファイルの実施区分に誤ったコード値が記録されています。[値]
	総ファイル数	半角数字	6	可変	○	○					

※1. チェック可否の意味は下記のとおり
○：あり（要素及び項目値が存在すること） ×：なし（要素が存在しないこと） △：任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） ー：チェックしない

●集計情報ファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・集計情報ファイルのファイル名の先頭が「S」以外の場合は「受付無効（提出用アーカイブファイルごと受付不可）」とする ・文字コードが不正（UTF8以外）、又はXMLファイルとして認識できない場合は「受付無効」とする ・各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付無効」とする ・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付無効」とする ・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付無効」とする	L1702 L1802 L1101 L1203 L1202	フォルダ[ルートフォルダ名]配下に集計情報ファイルがありません。 集計情報ファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名] [項目名]が記録されていません。 [項目名]が(形式名)形式で記録されていません。[値] 固定長：[項目名]が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長：[項目名]が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
2次チェック	・各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付無効」とする	下記参照	

ファイルの記録内容	項目（要素）名称	モード （形式）	最大 文字数	データ 形式	チェック可否		コード値 （国保取扱い分のみ）	2次チェック内容 （補足説明など）	エラー レベル	エラーコード	エラーメッセージ
					特定健診 （1）	特定保健 指導 （2）					
特定健診又は特定保健指導の集計情報	実施区分	半角数字	1	固定	○	○	1：特定健診 2：特定保健指導	・ルートフォルダの「種別コード」と同じであること ・左記のコード値の何れかであること	受付無効	1：L1401 2：L1301	1：集計情報ファイルの実施区分[値]とルートフォルダの種別[値]との関連が誤っています。 2：集計情報ファイルの実施区分に誤ったコード値が記録されています。[値]
	特定健診受診者／特定保健指導利用者の総数	半角数字	6	可変	○	○					
	特定健診／特定保健指導の単価（合計）／算定金額の総計	半角数字	9	可変	○	○					
	特定健診／特定保健指導の窓口負担の金額総計	半角数字	9	可変	△	△					
	他の検診による負担金額総計	半角数字	9	可変	△	ー					
	特定健診／特定保健指導の請求金額総計	半角数字	9	可変	○	○					

※1. チェック可否の意味は下記のとおり
○：あり（要素及び項目値が存在すること） ×：なし（要素が存在しないこと） △：任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） ー：チェックしない

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
※ 最新バージョンに伴う国保独自のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
※ 既存の国保独自仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定健診データファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・特定健診データファイルのファイル名が命名規則に準拠していない、又はファイル名の”種別”がルートフォルダ名の”種別”と一致していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2 7 0 1	データファイルのファイル名が誤っています。[ファイル名][桁数]桁目が(エラー理由)。
	・対となる特定健診決済情報ファイルが存在しない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2 7 0 4	データファイル[ファイル名]に対応する決済情報ファイルがありません。
	・文字コードが不正（UTF8以外）、又は構造定義（電子的標準様式）に準拠していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2 8 0 2	データファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名]
	・ルートタグが誤っている場合、以降のチェックを行わない	L 2 8 0 6	データファイルのルートタグの記録が誤っています。誤[値]正[正常値]
	・名前空間（ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsi属性、xsi:schemaLocation属性の各設定値）が「電子的な標準様式の仕様」に準拠していない場合は自動補正を行う	-	-
	・モード（形式）が「全角文字又は半角英数」、及び「全角文字」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号（～、～）が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号（一、～）に自動補正を行う。	-	-
	・各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付不可」とする	L 2 1 0 1	[項目名]が記録されていません。
	・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付不可」とする	L 2 2 0 3	[項目名]が(形式名)形式で記録されていません。[値]
	・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付不可」とする（一部例外あり）	L 2 2 0 2	固定長：[項目名]が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長：[項目名]が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
	・特定健診データのXML形式構造定義ファイル（XMLスキーマファイル）に準拠していない場合は「受付不可」とする（なお、受付エラー連絡書には参考としてエラーメッセージを最大3つまで表示する）	L 2 8 0 3	データファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。[ファイル名]このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。 参考メッセージ[エラーメッセージ]
2次チェック	・各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付不可」とする	下記参照	

ファイルの記録内容	項目（要素）名称	モード (形式)	最大 文字数	データ 形式	チェック可否 特定健診決済情報ファイル：請求区分					コード値 (国保取扱い分のみ)	2次チェック内容 (補足説明など)	エラー レベル	エラーコード	エラーメッセージ
					基本的な 健診 (1)	基本的な 健診+詳 細な健診 (2)	基本的な 健診+追 加健診項 目(3)	基本的な 健診+詳 細な健診 +追加健 診項目 (4)	人間ドク ク(5)					
特定 健 診 情 報	報告区分	半角数字 半角日付 (YYYYMMDD)	2 8	固定 固定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1.0：特定健診	・1.0であること ・未来日付（システム日付の翌日以降の日付）でないこと	受付不可 受付不可	L 2 3 0 1 L 2 4 0 8	データファイルの報告区分に誤ったコード値が記録されています。[値] データファイルのファイル作成日に未来日が記録されています。[値]
	保険者番号	半角数字	8	固定	○	○	○	○	○		・決済情報ファイルの受診者情報の当該項目と同じであること ※：先頭2桁が「67」の場合、先頭2桁を「00」に置き換えた保険者番号で比較する	受付不可	L 2 4 0 1	データファイルの保険者番号[値]と決済情報ファイルの保険者番号[値]との関連が誤っています。
	被保険者証等記号	全角文字又は半角英数	2.0	可変	△	△	△	△	△					
	被保険者証等番号	全角文字又は半角英数	2.0	可変	○	○	○	○	○					
	氏名	半角カタカナ	2.0	可変	○	○	○	○	○					
	生年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○					
	男女区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○					
	郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	○	○	○	○	○					
	住所	全角文字	4.0	可変	○	○	○	○	○					
	ファイル作成日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○					
	特定健診機関番号	半角数字	1.0	固定	○	○	○	○	○					
	名称	全角文字	2.0	可変	○	○	○	○	○					
	郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	△	△	△	△	△					
	所在地	全角文字	4.0	可変	△	△	△	△	△					
	電話番号	半角英数 (tel:999999999999)	1.5	可変	△	△	△	△	△					
	受診券番号種別コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△					
	受診券管理番号	半角数字	1.1	固定	△	△	△	△	△					
	受診券有効期限	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	△	△	△	△	△					
	受診券発行保険者番号	半角数字	8	固定	△	△	△	△	△					
	健診実施時のプログラム種別	半角数字	3	固定	○	○	○	○	○	000：不明 010：特定健診 030：事業者健診（労働安全衛生法に基づく健診） 040：学校健診（学校保健法に基づく職員健診） 060：がん検診 090：肝炎検診 990：上記ではない健診（検診）	←左記のコード値の何れかであること ※：020（広域連合の保健事業）、050（生活機能評価）は支払基金にて取り扱わない	受付不可	L 2 3 0 1	データファイルの健診実施時のプログラム種別に誤ったコード値が記録されています。[値]
	健診実施年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○					
	健診実施機関番号	半角数字	1.0	固定	○	○	○	○	○					
	健診実施機関名称	全角文字	2.0	可変	○	○	○	○	○		・決済情報ファイルの受診者情報の当該項目と同じであること	受付不可	L 2 4 0 1	データファイルの健診実施機関番号[値]と決済情報ファイルの健診実施機関番号[値]との関連が誤っています。
	健診実施機関郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	○	○	○	○	○					
	健診実施機関所在地	全角文字	4.0	可変	○	○	○	○	○					
	健診実施機関電話番号	半角英数 (tel:999999999999)	1.5	可変	○	○	○	○	○					
健診結果情報 ※：複数記録可能	CDAセクションのコード	半角数字	5	固定						01010：特定健診検査・問診セクション 01020：広域連合保健事業セクション 01030：労働安全衛生法健診セクション 01040：学校保健法健診セクション 01050：生活機能評価セクション 01060：がん検診セクション 01090：肝炎検診セクション 01990：任意追加項目セクション	1：01010のセクションコードが一つ以上存在すること 2：01010、01990以外のセクションコードが存在しないこと 3：1データファイル内でCDAセクションコードが重複して記録されていないこと ・CDAセクションのコードのOID値が「1.2.392.200119.6.1010」でない場合は、自動補正を行う。 →対象健診年度が平成30年度以降において「01050：生活機能評価セクション」が記録されていないこと	受付不可	1：L 2 1 0 1 2：L 2 1 0 1 3：L 2 1 0 8 4→L 2 4 2 4	1、2：データファイルに必須のCDAセクションのコードが記録されていません。 3：特定健診データファイル内に重複したCDAセクションコード[値]が存在します。
	健診（検査）結果 ※：複数記録可能				○	○	○	○	○		・1つの健診項目内に健診項目コードや結果データ値などの要素が複数記録されていないこと ※但し、対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQ、CDの組み合わせ（PQ、CDは各々1つのみとする）は除く（PQ、CDの出現順番は任意とする）。 （補足資料①参照） ※対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQ、CDの組み合わせは除く（PQ、CDの出現順番は任意とする）	受付不可	L 2 1 1 1 L 2 1 0 7	データファイルの[項目名1]の[項目名2]が複数記録されています。
	検査項目コード	半角英数	1.7	固定										
	検査方法コード	半角英数	1.0	可変	△	△	△	△	△					
	基準上限・下限値 ※2	半角数字	1.1	可変										
	検査経過時間	半角数字	4	可変	△	△	△	△	△					
	結果観察コード	半角英数	1	固定	△	△	△	△	△					
	判断医師氏名	全角文字	32	可変	△	△	△	△	△					
											※：特定健診項目チェックシートを参照	受付不可		

※ 1. チェック可否の意味は下記のとおり
○：あり（要素及び項目値が存在すること） ×：なし（要素が存在しないこと） △：任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） -：チェックしない
※ 2. 基準上限・下限値の桁数は下記のとおり
整数部7桁以内、小数部3桁以内とする（小数点も1桁として含み、11桁の可変長文字列とする）

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
※ 最新バージョンに伴う国保独自のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
※ 既存の国保独自仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定健診決済情報ファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・ 特定健診決済情報ファイルのファイル名が命名規則に準拠していない、又はファイル名の”種別”がルートフォルダ名の”種別”と一致していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない ・ 対となる特定健診データファイルが存在しない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない ・ 文字コードが不正（UTF8以外）、又は構造定義（電子的標準模式）に準拠していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない ・ ルートタグが誤っている場合、以降のチェックを行わない ・ 名前空間（ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsi属性、xsi:schemaLocation属性の各設定値）が「電子的な標準模式の仕様」に準拠していない場合は自動補正を行う ・ モード（形式）が「 全角文字又は半角英数 」、及び「 全角文字 」の項目に対し、Linuxで入力された 全角記号 （～、～）が含まれている場合はWindowsで判別出来る 全角記号 （～、～）に自動補正を行う。 ・ 各項目のチェックを実施する前に請求区分のチェックを行い、エラーの場合は以降のチェックを行わない ・ 各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付不可」とする ・ 各項目のチェック可否が「×」の場合、要素が存在するときは「受付不可」とする ・ 各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付不可」とする ・ 各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超えている、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付不可」とする（一部例外あり）	L 2 7 0 1 L 2 7 0 4 L 2 8 0 2 L 2 8 0 6 - - L 2 1 0 1 L 2 1 0 3 L 2 2 0 3 L 2 2 0 2	決済情報ファイルのファイル名が誤っています。[ファイル名] [(桁数)桁目が(エラー理由)] 決済情報ファイル[ファイル名]に対応するデータファイルがありません。 決済情報ファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名] 決済情報ファイルのルートタグの記録が誤っています。誤[値]正[正常値] - - [項目名]が記録されていません。 [項目名]が記録されています。[値] [項目名]が(形式名)形式で記録されていません。[値] 固定長:[項目名]が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長:[項目名]が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
2次チェック	・ 特定健診決済情報のXML形式構造定義ファイル（XMLスキーマファイル）に準拠していない場合は「受付不可」とする（なお、受付エラー連絡書には参考としてエラーメッセージを最大3つまで表示する） →当月を含む過去3ヶ月以内の請求処理において決済情報ファイルに記録されている項目（実施区分、特定健診機関番号、保険者番号、受診券整理番号、生年月日、男女区分）と同一の内容の決済情報ファイルが存在する場合は、「 受付不可 」とする →オンラインの保険者からの返戻受付期間は保険者報告1回目（33日頃）の翌月から受付開始とする →当月処理において決済情報ファイル名と同一の決済情報ファイルが既に請求分又は返戻・過誤分として存在する場合は、「 受付不可 」とする →各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付不可」とする	L 2 8 0 3 L 2 7 0 7 L 2 7 1 1 L 2 7 1 2 下記参照	このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。 [ファイル名]このエラーを修正するためにはシステム開発者メッセージ[エラーメッセージ]

ファイルの記録内容	項目（要素）名称	モード（形式）	最大文字数	データ形式	チェック可否 特定健診決済情報ファイル：請求区分					コード値 (国保取扱い分のみ)	2次チェック内容 (補足説明など)	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
					基本的な健診 (1)	基本的な健診+詳細な健診 (2)	基本的な健診+追加健診項目 (3)	基本的な健診+詳細な健診+追加健診項目 (4)	人間ドック (5)					
特定健診決済情報	受診情報	実施区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	1：特定健診情報	・ 1であること ・ ルートフォルダ名の”種別”と一致していること	受付不可	1：L 2 3 0 1 2：L 2 4 0 1	1：決済情報ファイルの実施区分に誤ったコード値が記録されています。[値] 2：決済情報ファイルの実施区分[値]とルートフォルダの種別[値]との関連が誤っています。
	受診者情報	健診実施機関番号	半角数字	10	固定	○	○	○	○		・ 決済情報ファイル名の2桁目から10桁で記録される「健診実施機関番号」と一致すること ・ 機関マスタに存在すること →ルートフォルダ名の「 健診等機関番号 」と同じであること	受付不可	1：L 2 4 0 1 2：L 2 3 0 2 3→L 2 6 0 3	1：決済情報ファイルの健診実施機関番号[値]と決済情報ファイルのファイル名の健診実施機関番号[値]との関連が誤っています。 2：決済情報ファイルの健診実施機関番号がシステムに登録されていません。[値]
		保険者番号	半角数字	8	固定	○	○	○	○		・ 保険者マスタに存在すること ・ 先頭2桁が「67」の場合、先頭2桁を「00」に置き換えた保険者番号が保険者マスタに存在すること	受付不可	L 2 3 0 2	決済情報ファイルの保険者番号がシステムに登録されていません。[値]
		被保険者証等記号	全角文字又は半角英数	20	可変	△	△	△	△					
		被保険者証等番号	全角文字又は半角英数	20	可変	○	○	○	○					
		氏名	全角カタカナ	20	可変	○	○	○	○					
		生年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○		・ 未来日付（システム日付の翌日以降の日付）でないこと	受付不可	L 2 4 0 8	決済情報ファイルの生年月日に未来日が記録されています。[値]
		男女区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	1：男 2：女	・ 左記のコード値の何れかであること	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの男女区分に誤ったコード値が記録されています。[値]
		郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	○	○	○	○					
		住所	全角文字	40	可変	○	○	○	○					
	受診券情報	受診券整理番号	半角数字	11	固定	△	△	△	△					
		受診券有効期限	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	△	△	△	△					
		窓口負担（基本的な健診）	窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	1：負担なし 2：定額負担（単位：円） 3：定率負担（単位：％） 4：保険者負担上限額（単位：円）	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの窓口負担（基本的な健診）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
			負担額（半） 窓口負担コード 保険者負担上限額	半角数字 半角数字 半角数字	6 1 6	固定 固定 固定	△ △ △	△ △ △	△ △ △		※ 窓口負担は受診券情報マスタを使用して処理する			
		窓口負担（詳細な健診）	窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	1：負担なし 2：定額負担（単位：円） 3：定率負担（単位：％） 4：保険者負担上限額（単位：円）	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの窓口負担（詳細な健診）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
			負担額（半） 窓口負担コード 保険者負担上限額	半角数字 半角数字 半角数字	6 1 6	固定 固定 固定	△ △ △	△ △ △	△ △ △		※ 窓口負担は受診券情報マスタを使用して処理する			
		窓口負担（追加健診）	窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	1：負担なし 2：定額負担（単位：円） 3：定率負担（単位：％） 4：保険者負担上限額（単位：円）	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの窓口負担（追加健診）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
			負担額（半） 窓口負担コード 保険者負担上限額	半角数字 半角数字 半角数字	6 1 6	固定 固定 固定	△ △ △	△ △ △	△ △ △		※ 窓口負担は受診券情報マスタを使用して処理する			
		窓口負担（人間ドック）	窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	1：負担なし 2：定額負担（単位：円） 3：定率負担（単位：％）	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの窓口負担（人間ドック）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
			負担額（半） 窓口負担コード 保険者負担上限額	半角数字 半角数字 半角数字	6 1 6	固定 固定 固定	△ △ △	△ △ △	△ △ △		※ 窓口負担は受診券情報マスタを使用して処理する ※ 左記のコード値であること ※ 窓口負担は受診券情報マスタを使用して処理する	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの窓口負担（人間ドック）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
	決済情報	請求区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	1：基本的な健診 2：基本的な健診+詳細な健診 3：基本的な健診+追加健診項目 4：基本的な健診+詳細な健診+追加健診項目 5：人間ドック	・ 左記のコード値の何れかであること	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの請求区分に誤ったコード値が記録されています。[値]
		委託料単価（個別健診・集団健診）区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	1：個別健診 2：集団健診	・ 左記のコード値の何れかであること	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの委託料単価（個別健診・集団健診）区分に誤ったコード値が記録されています。[値]
		単価（基本的な健診）		9	可変	○	○	○	×		・ 請求区分が2又は4の場合、同じ項目コードの単価金額が存在しないこと	受付不可	L 2 1 0 5	重複が許されない項目が複数記録されています。[項目名]
		単価（詳細な健診） ※、複数記録可能	項目コード	半角数字	1	固定	×	○	×	×	1：貧血検査 2：心電図検査 3：眼底検査 4：血清クレアチニン検査	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの単価（詳細な健診）の項目コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
			単価金額	半角数字	9	可変	×	○	×	×	・ 対象健診年度が平成29年度以前において「4：血清クレアチニン検査」が記録されていないこと	受付不可	L 2 4 2 4	対象健診年度が平成29年度以前において決済情報ファイルの単価（詳細な健診）の項目コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
		単価（追加健診又は人間ドック） ※、複数記録可能	項目コード	半角英数	17	固定	×	×	○	×	・ 請求区分が5（人間ドック）の場合、複数記録されていないこと ・ 請求区分が3又は4の場合、同じ項目コードが存在しないこと	受付不可	L 2 1 0 5	重複が許されない項目が複数記録されています。[項目名]
			単価金額	半角数字	9	可変	×	×	○	○				
		窓口負担金額（基本的な健診）	半角数字	6	固定	△	△	△	△	×				
		窓口負担金額（詳細な健診）	半角数字	6	固定	×	△	×	△	×				
		窓口負担金額（追加健診又は人間ドック）	半角数字	6	固定	×	×	△	△	△				
		単価（合計） 窓口負担金額（合計） 他の情報による負担金額	半角数字 半角数字 半角数字	9 9 9	可変 可変 可変	○ △ △	○ △ △	○ △ △	○ △ △	○ △ △				
		請求金額	半角数字	9	可変	○	○	○	○	○				

※ 1. チェック可否の意味は下記のとおり
○：あり（要素及び項目値が存在すること） ×：なし（要素が存在しないこと） △：任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） -：チェックしない

※ 最新バージョンに準ずる支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色欄付け、赤字で表示
※ 最新バージョンに準ずる関係協会のチェック仕様の変更については、黄色欄付け、赤字で表示（支払基金との共通チェックを関係協会の仕様としてチェックを行わない）ことを示す）
※ 既存の関係協会の仕様に関しては、緑欄付けなし、赤字で表示（数値欄は「支払基金との共通チェックを関係協会の仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラー レベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系OIDが誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型（属性）が「文字列（全角）」の項目に対し、11桁で入力された全角記号（～、～）が含まれている場合はWindowsで印刷出来る全角記号（～、～）に自動補正を行う	-	-	-
4	項目(JLAC10コード)に対し権限(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること ○：いずれか1つ以上、項目が存在すること(同一グループ内で選可) ●：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) △：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) ただし、関連する項目値が2未満又は「L」(入力最小値の範囲外)の場合は除く なお、「No4-3 腹囲(自己申告)」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が2未満又は「L」(入力最小値の範囲外)であること ▲：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1～4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、NO21-1～4を除く(補正資料2を参照) □：当該項目が未実施以外で存在し、かつ関連する項目がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合、 関連する項目がNO25-1～4の場合、項目値が2(食後10時間以上)であること 関連する項目がNO26-1～4の場合、項目値が3(食後3.5時間以上10時間未満)であること ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(No.27-1～4)がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(No.28-1～4)がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■：関連する項目のコードが1(あり)の場合、当該項目が存在すること	受付不可	O:L2101 ○:L2101 ●:L2101 △:L2101 L2416 ▲:L2101 L2422 □:L2401 ■:L2401	○:データファイルの「項目名」が記録されていません。 ○:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 ●:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 △:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 腹囲(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが2未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります。 ▲:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 対象健診年度(対象健診年度)においてデータファイルの「項目名」に「HbA1c」の検査結果が記録されています。 □:データファイルの「項目名」(図)とデータファイルの「項目名」(図)との関連が誤っています。 ■:データファイルの「項目名」(図)とデータファイルの「項目名」(図)との関連が誤っています。
5	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、同一検査内ののいずれかが記録されていない又は未実施として記録されている	受付不可	L2425	詳細な健診において、データファイルの「項目名」が記録されていない又は未実施として記録されています。
6	同一検査内の●が2つ以上同時に、未実施以外で記録されている	受付不可	L2426	同時記録が認められていない項目が記録されています。【項目名】
7	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、検査対象者に関するコード値の組み合わせが誤っている	受付不可	L2427	詳細な健診において、データファイルの「項目名」に誤ったコード値が記録されています。【図】
8	平成29年度以前記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。【図】
9	平成30年度以降記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成30年度以降において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。【図】
10	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation要素のnegationInd属性が「true」)で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。【項目名】
11	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの「項目名」が「形式名」形式で記録されていません。【図】
12	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超過している	受付不可	L2202	測定値(CD等):データファイルの「項目名」が「文字数」文字で記録されていません。【図】 可変長(S等):データファイルの「項目名」が「文字数」文字以内で記録されていません。【図】
13	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	【項目名】に誤った形式の値が記録されています。【図】
14	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの「項目名」に対し範囲(入力最小値～(入力最大値))外の値が記録されています。【図】
15	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの「項目名」に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
16	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの「項目名」において範囲(入力最小値～(入力最大値))外の記録値に対応するコード値が誤っています。【図】
17	10DAセッションコード内に同じ項目(JLAC10コード)が複数記録されている	受付不可	L2106	CDセッションコード(図)内に重複した検査項目コード(図)が存在します。
18	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「範囲最小値」≦「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの「項目名」に対し範囲(下層値～(上層値))外の値が記録されています。【図】
19	XMLデータ型がその項目の検査結果参照範囲が指定されている項目において、基準値の範囲外で結果解釈コード(interpretationCode)が指定されていない。又は、結果解釈コードの内容が誤っている(「L」,「N」以外) ※：範囲内とは、「基準値の下層値」≦「記録された値」≦「基準値の上層値」に記録された値のこと	受付不可	L2414	データファイルの「項目名」において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
20	一検査内グループ内で誤って記録されている	受付不可	L2110	特定健診データファイル内の一検査内グループ内に誤ったコードが入力されています。【図】
21	JLAC10コードが存在しない項目が存在している	受付不可	L2109	特定健診データファイル内にJLAC10コードが入力されていない項目が存在しています。
22	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されていません。
23	平成29年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前において、データファイルの「項目名」に誤ったコード値が記録されています。
24	平成30年度以降において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成30年度以降において、データファイルの「項目名」に誤ったコード値が記録されています。

(注意1)下記の条件を満たす場合はNo10以降のチェックを行わない
・対象健診年度が平成29年度以前の場合、項目「JLAC10コード」が記録不可
・対象健診年度が平成30年度以降の場合、項目「JLAC10コード」が記録不可
(注意2)下記の条件を満たす場合はNo11以降のチェックを行わない
・未実施の項目(observation要素のnegationInd属性が「true」)
例) <observation classCode="OBS" modCode="EVN" negationInd="true">
測定不可能な項目(value要素のnullFlavor属性が「N」)
例) <value xsi:type="PQ" nullFlavor="N"/>
・対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目(value要素のxsi:type属性が「CD」でcode属性が「H」又は「L」)
※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと
※：XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能
例) <value xsi:type="CD" code="H"/>
(注意3)下記の特定健診項目に記載されている項目以外については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査コード、基準・下限値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする(チェック対象は要素が存在した場合とする)
・項目のXMLデータ型がPQ(xsi:type="PQ")の測定値
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可)桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内
・項目のXMLデータ型がCD(xsi:type="CD")の測定値
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可)桁数:2桁以内
・項目のXMLデータ型がQ(xsi:type="Q")の測定値
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可)桁数:2桁以内
・項目のXMLデータ型がST(xsi:type="ST")の測定値
形式:全角文字(半角文字は不可)桁数:128桁以内
(注意4)下記の条件を満たす場合はNo12～13、18、22～24のチェックを行わない
・対象健診年度が平成25年度以降の場合で、XMLデータ型がPQの項目に対して、xsi:type属性がそれぞれ「PQ」、「CD」である2つのvalue要素が記録された場合CDの下記の例における2番目のvalue要素)
例) [身長]の場合
<code code="9N0010000000000001"/>
<value xsi:type="PQ" value="300.0" unit="cm"/>
<value xsi:type="CD" code="H"/>
(注意5)
・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成29年度以前とする。
・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。

【現状の補正処理】
JLAC10コードに紐付くXMLデータ型と、ファイルに入力されたvalue要素のxsi:type属性が異なる場合は、ファイルの入力値を、JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型に補正する。

例) JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型:PQ

【補正前】
<value xsi:type="CD" value="100"/>
↓
【補正後】
<value xsi:type="PQ" value="100"/>
※補正前の値が"AA"などの不正な値でも補正を行う。

【追加する補正処理】
XMLデータ型が「PQ」で、コード属性が「H」or「L」のものは、xsi:typeを「CD」に補正する。

【補正前】
<value xsi:type="PQ" code="H"/>
↓
【補正後】
<value xsi:type="CD" code="H"/>

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果属性)	項目名	関連項目	未実施の 記録可否	データ型 (属性)	JLACデータ 型	最大 文字数	形式 ※8	項目値(コード値) の範囲	入力最小・最大値の 範囲	平成29年度以前 記録不可	平成30年度以降 記録不可	詳細な健診 必須記録	複数記録不可	コード値		
身体計測	○	1	9N0010000000000001	身長		不可	数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9	100.0～250.0	-	-	-	-			
		2	9N0060000000000001	体重		不可	数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9	20.0～250.0	-	-	-	-			
		3	9N0110000000000001	BMI		不可	数値 (全角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	10.0～100.0	-	-	-	-			
		4-1	9N0161601000000001	腹囲(実測)	BMI		数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9	40.0～250.0	-	-	-	-			
		4-2	9N0161602000000001	腹囲(自己判定)	BMI		数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9	40.0～250.0	-	-	-	-			
		4-3	9N0161603000000001	腹囲(自己申告)	BMI		数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9	40.0～250.0	-	-	-	-			
		4-4	9N0210000000000001	内臓脂肪面積	BMI		数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9	-	-	-	-	-			
			9N0260000000000002	肥満度			数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9	-	-	-	-	-			
			9N0510000000000049	家族歴			文字列 (全角)	ST	128	-	-	-	-	-	-	-			
			9N0560000000000011	既往歴		不可	コード (全角)	CD	1	N	1～2	-	-	-	-	-	1:特記すべきことあり、2:特記すべきことなし		
診察	■	(6)	9N0561604000000049	既往歴(具体的な既往歴)	既往歴	不可	文字列 (全角)	ST	128	-	-	-	-	-	-	-			
	○	7	9N0610000000000011	自覚症状		不可	コード (全角)	CD	1	N	1～2	-	-	-	-	-	1:特記すべきことあり、2:特記すべきことなし		
	■	(8)	9N0611608000000049	自覚症状(所見)	自覚症状	不可	文字列 (全角)	ST	128	-	-	-	-	-	-	-			
	○	9	9N0660000000000011	他覚症状		不可	コード (全角)	CD	1	N	1～2	-	-	-	-	-	1:特記すべきことあり、2:特記すべきことなし		
	■	(10)	9N0661608000000049	他覚症状(所見)	他覚症状	不可	文字列 (全角)	ST	128	-	-	-	-	-	-	-			
		9N0710000000000049	その他(家族歴等)			文字列 (全角)	ST	128	-	-	-	-	-	-	-	-			
		9N0760000000000049	雑音(口腔内含む)			文字列 (全角)	ST	128	-	-	-	-	-	-	-	-			
		9N0810000000000049	打撃診			文字列 (全角)	ST	128	-	-	-	-	-	-	-	-			
		9N0860000000000049	触診(関節可動域含む)			文字列 (全角)	ST	128	-	-	-	-	-	-	-	-			
		9N0910000000000001	反復聴覚聴下テスト			数値 (全角)	PQ	1	N	0～9	-	-	-	-	-	-	-		
血圧等	●	11-1	9A7510000000000001	収縮期血圧(1回目)			数値 (全角)	PQ	3	NNN	0～999	60～300	-	-	-	-	-		
		11-2	9A7520000000000001	収縮期血圧(2回目)			数値 (全角)	PQ	3	NNN	0～999	60～300	-	-	-	-	-		
		11-3	9A7550000000000001	収縮期血圧(その他)			数値 (全角)	PQ	3	NNN	0～999	60～300	-	-	-	-	-		
		12-1	9A7610000000000001	拡張期血圧(1回目)			数値 (全角)	PQ	3	NNN	0～999	30～150	-	-	-	-	-		
		12-2	9A7620000000000001	拡張期血圧(2回目)			数値 (全角)	PQ	3	NNN	0～999	30～150	-	-	-	-	-		
		12-3	9A7650000000000001	拡張期血圧(その他)			数値 (全角)	PQ	3	NNN	0～999	30～150	-	-	-	-	-		
			9N1210000000000001	心拍数			数値 (全角)	PQ	3	NNN	0～999	-	-	-	-	-	-		
			3F0500000002327101	総コレステロール(可視吸光光度法(コレステロール酸化酵素法))			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	-	-	-	-	-	-		
			3F0500000002327201	総コレステロール(紫外吸光光度法(コレステロール酸素酵素法))			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	-	-	-	-	-	-		
			3F0500000002399901	総コレステロール(その他)			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	-	-	-	-	-	-		
生化学検査	●	13-1	3F0150000002327101	中性脂肪(トリグリセリド)(可視吸光光度法(酵素比色法-グリセロール消滅))			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	10～2000	-	-	-	-	-		
		13-2	3F0150000002327201	中性脂肪(トリグリセリド)(紫外吸光光度法(酵素比色法-グリセロール消滅))			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	10～2000	-	-	-	-	-		
		13-3	3F0150000002399901	中性脂肪(トリグリセリド)(その他)			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	10～2000	-	-	-	-	-		
		14-1	3F0700000002327101	HDLコレステロール(可視吸光光度法(直接法(非遮断法)))			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	10～500	-	-	-	-	-		
		14-2	3F0700000002327201	HDLコレステロール(紫外吸光光度法(直接法(非遮断法)))			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	10～500	-	-	-	-	-		
		14-3	3F0700000002399901	HDLコレステロール(その他)			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	10～500	-	-	-	-	-		
		15-1	3F0770000002327101	LDLコレステロール(可視吸光光度法(直接法(非遮断法)))			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	20～1000	-	-	-	-	-		
		15-2	3F0770000002327201	LDLコレステロール(紫外吸光光度法(直接法(非遮断法)))			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	20～1000	-	-	-	-	-		
		15-3	3F0770000002399901	LDLコレステロール(その他)			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	20～1000	-	-	-	-	-		
			15-4	3F0770000002391901	LDLコレステロール(計算法)			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	20～1000	○	-	-	-	-	
			15-5	3F0690000002391901	non-HDLコレステロール			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	20～1000	○	-	-	-	-	
			3J0100000002327101	総ビリルビン(可視吸光光度法(化学還元法、酵素法、シアノ法))			数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9	-	-	-	-	-	-		
			3J0100000002399901	総ビリルビン(その他)			数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9	-	-	-	-	-	-		
		16-1	3B0350000002327201	GOT(AST)(紫外吸光光度法(JSC標準化対応法))			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	0～1000	-	-	-	-	-		
		16-2	3B0350000002399901	GOT(AST)(その他)			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	0～1000	-	-	-	-	-		
		17-1	3B0450000002327201	GPT(ALT)(紫外吸光光度法(JSC標準化対応法))			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	0～1000	-	-	-	-	-		
		17-2	3B0450000002399901	GPT(ALT)(その他)			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	0～1000	-	-	-	-	-		
		18-1	3B0900000002327101	γ-GT(γ-GTP)(可視吸光光度法(JSC標準化対応法))			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	0～1000	-	-	-	-	-		
		18-2	3B0900000002399901	γ-GT(γ-GTP)(その他)			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	0～1000	-	-	-	-	-		
			3B0700000002327101	ALP(可視吸光光度法(JSC標準化対応法))			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	-	-	-	-	-	-		
			3B0700000002399901	ALP(その他)			数値 (全角)	PQ	5	NNNNN	0～99999	-	-	-	-	-	-		
		19	3C0150000002327101	血清クレアチニン(可視吸光光度法(酵素法))		※7	数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.00～99.99	0.10～20.00※8	※8	-	-	-	○1	◆	
		20	3C0150000002399901	血清クレアチニン(その他)		※7	数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.00～99.99	0.10～20.00※8	※8	-	-	-	-	◆	
	21	8A0650000002391901	aGFR		※7	数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9	1.0～500.0	○	-	-	-	○1	-		
22	3C015161602399911	血清クレアチニン(対象者)		※7	コード (全角)	CD	1	N	0～1	-	○	-	-	-	○1	-			
23	3C015161602399949	血清クレアチニン(実施理由)		※7	文字列 (全角)	ST	128	-	-	-	○	-	-	-	○1	-			
	3C0200000002327101	血清尿酸(可視吸光光度法(ウリカーゼ-ヘルオキナーゼ法))			数値 (全角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	-	-	-	-	-	-	-			
	3C0200000002399901	血清尿酸(その他)			数値 (全角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	-	-	-	-	-	-	-			
	3A0100000002327101	糖蛋白(可視吸光光度法(ビウレット法))			数値 (全角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	-	-	-	-	-	-	-			
	3A0100000002399901	糖蛋白(その他)			数値 (全角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	-	-	-	-	-	-	-			
	3A0150000002327101	アルブミン(可視吸光光度法(BCG法、BCP改良法))			数値 (全角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	-	-	-	-	-	-	-			
	3A0150000002399901	アルブミン(その他)			数値 (全角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9	-	-	-	-	-	-	-			
	3A0160000002327102	A/G			数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～99.99	-	-	-	-	-	-	-			
	5C0950000002302301	血清フェリチン(エンザイム免疫法(EIA))			数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9	-	-	-	-	-	-	-			
	5C0950000002399901	血清フェリチン(その他)			数値 (全角)	PQ	5	NNNN	0.0～999.9	-	-	-	-	-	-	-			
□	34	9N1410000000000011	採血時間(食後)	採血時血糖(※0.25-1～4)、 採血時血中脂質(※0.25-1～4)	不可	コード (半角)	CD	1	N	1～4	-	-	-	-	-	-	1:食後10時間未満(平成29年度以前のみ記録可能) 2:食後10時間以上 3:食後3.5時間以上10時間未満(平成30年度以降のみ記録可能) 4:食後3.5時間未満(平成30年度以降のみ記録可能)		

●特定健診項目チェックシート

●特定健診項目チェックシート

【補正後】
<value xsi:type="CD" code="H" />

HbA1cに関するチェックについては補足資料②参照

●特定健診項目チェックシート

※ 最新バージョンに準ずる支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色欄内は、赤字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
※ 最新バージョンに準ずる関係独自のチェック仕様の変更については、黄色欄内は、赤字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
※ 既存の関係独自仕様に関しては、緑枠なし、赤字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラー レベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系OIDが誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動修正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が指定されている場合、自動修正を行う	-	-	-
3	データ型（属性）が「文字列（全角）」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号（-、～）が含まれている場合はWindowsで印刷出来る全角記号（-、～）に自動修正を行う。	-	-	-
4	項目（JLAC10コード）に対し権限（下記参照）の条件を満たさない ○：当該項目（JLAC10コード）が必要存在すること ○：いずれか1つ以上、項目が存在すること（同一グループ内で選可） ●：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で選可） △：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で選可） ただし、関連する項目値が20未満又は「L」（入力最小値の範囲外）の場合は除く なお、「No4-3 腹囲（自己申告）」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が22未満又は「L」（入力最小値の範囲外）であること ▲：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること（同一グループ内で選可） ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1～4を除く（補正資料2を参照） □：当該項目が未実施以外で存在し、かつ関連する項目がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合、 関連する項目がNO.25-1～4の場合、項目値が2（食後10時間以上）であること 関連する項目がNO.26-1～4の場合、項目値が3（食後3.5時間以上10時間未満）であること ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c（NO.27-1～4）がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c（NO.28-1～4）がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■：関連する項目のコードが1（あり）の場合、当該項目が存在すること	○:L12101 ○:L12101 ●:L12101 △:L12101 L2416 ▲:L12101 L2422 □:L2401 ■:L2401	○:データファイルの「項目名」が記録されていません。 ○:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 ●:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 △:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 腹囲（自己申告）のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」（入力最小値の範囲外）である必要があります。 ▲:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 対象健診年度が（対象健診年度）においてデータファイルの「項目名」に「HbA1c」の検査結果が記録されています。 □:データファイルの「項目名」とデータファイルの「項目名」との関連が誤っています。	
5	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、同一検査内ののいずれかが記録されていない又は未実施として記録されている	受付不可	L2425	詳細な健診において、データファイルの「項目名」が記録されていない又は未実施として記録されています。
6	同一検査内の●が2つ以上同時に、未実施以外で記録されている	受付不可	L2426	同時記録が認められていない項目が記録されています。【項目名】
7	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、検査対象者に関するコード値の組み合わせが誤っている	受付不可	L2427	詳細な健診において、データファイルの「項目名」に誤ったコード値が記録されています。【項目名】
8	平成29年度以前記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。【項目名】
9	平成30年度以降記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成30年度以降において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。【項目名】
10	未実施の記録が不可の項目で未実施（observation要素のnegationInd属性が「true」）で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。【項目名】
11	データ型（属性）に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの「項目名」が（形式名）形式で記録されていません。【値】
12	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	固定値（CD等）:データファイルの「項目名」が（文字数）文字で記録されていません。【値】 可変値（S等）:データファイルの「項目名」が（文字数）文字以内で記録されていません。【値】
13	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	（項目名）に誤った形式の値が記録されています。【値】
14	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外	受付不可	L2405	データファイルの「項目名」に対し範囲（入力最小値～（入力最大値））外の値が記録されています。【値】
15	※、範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと			
16	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの「項目名」に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
17	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果（コード型）の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの「項目名」において範囲（入力最小値～（入力最大値））外の記録値に対応するコード値が誤っています。【値】
18	10DAセクションコード内に同じ項目（JLAC10コード）が複数記録されている。	受付不可	L2106	CD&セクションコード【値】内に重複した検査項目コード【値】が存在します。
19	項目値（コード値）の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外	受付不可	L2405	データファイルの「項目名」に対し範囲（下層値）～（上層値）の外の値が記録されています。【値】
20	※、範囲内とは、「範囲最小値」≤「記録された値」≤「範囲最大値」に記録された値のこと			
21	※、範囲内とは、「基準値の下限値」≤「記録された値」≤「基準値の上限値」に記録された値のこと			
22	XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外（下層値）～（上層値）の外の値が記録されています。【値】	受付不可	L2414	データファイルの「項目名」において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
23	一直線検査グループコードが誤って記録されている	受付不可	L2110	特定健診データファイル内の一直線検査グループコードに誤ったコードが入力されています。【値】
24	JLAC10コードが存在しない項目が存在している。	受付不可	L2109	特定健診データファイル内にJLAC10コードが入力されていない項目が存在します。
25	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されていません。
26	平成29年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前において、データファイルの「項目名」に誤ったコード値が記録されています。【項目名】
27	平成30年度以降において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成30年度以降において、データファイルの「項目名」に誤ったコード値が記録されています。【項目名】

（注1）下記条件を満たす場合はNo10以降のチェックを行わない

・対象健診年度が平成29年度以前の場合、項目（JLAC10コード）が記録不可

・対象健診年度が平成30年度以降の場合、項目（JLAC10コード）が記録不可

（注2）下記条件を満たす場合はNo11以降のチェックを行わない

・未実施の項目（observation要素のnegationInd属性が「true」）

例）<observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true">

測定不可能な項目（value要素のnullFlavor属性が「Nil」）

例）<value xsi:type="PQ" nullFlavor="Nil" />

・対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目（value要素のxsi:type属性が「CD」でcode属性が「H」又は「L」）

※、範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと

※、XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外（下層値）～（上層値）の外の値が記録されています。【値】

例）<value xsi:type="CD" code="H" />

（注3）下記条件を満たす場合はNo12以降のチェックを行わない

・項目のXMLデータ型が「PQ」の測定値

形式:半角数字（マイナス等記号は不可）桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内

・項目のXMLデータ型が「CD」の測定値

形式:半角数字（マイナス等記号は不可）桁数:2桁以内

・項目のXMLデータ型が「ST」の測定値

形式:全角文字（半角文字は不可）桁数:128桁以内

（注4）下記条件を満たす場合はNo13以降のチェックを行わない

・対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型が「PQ」の項目に対して、xsi:type属性がそれぞれ「PQ」、「CD」である2つのvalue要素が記録された場合（CD）下記例における2番目のvalue要素）

例）<code code="9N0010000000000001" />

<value xsi:type="PQ" value="300.0" unit="cm" />

<value xsi:type="CD" code="H" />

（注5）

・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。

・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。

・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成29年度以前とする。

・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。

【現状の補正処理】
JLAC10コードに紐づくXMLデータ型と、ファイルに入力されたvalue要素のxsi:type属性が異なる場合は、ファイルの入力値を、JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型に補正する。

例）JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型:PQ

【修正前】
<value xsi:type="CD" value="100" />

↓
【修正後】
<value xsi:type="PQ" value="100" />
※補正前の値が"AA"などの不正な値でも補正を行う。

【追加する補正処理】
XMLデータ型が「PQ」で、コード属性が「H」or「L」のものは、xsi:typeを「CD」に補正する。

【修正前】
<value xsi:type="PQ" code="H" />

↓
【修正後】
<value xsi:type="CD" code="H" />

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果識別)	項目名	関連項目	未実施の 記録可否	データ型 (属性)	JLAC10 データ型	最大 文字数	形式 桁数	項目値(コード値) の範囲	入力最小・最大値の 範囲	平成29年度以前 記録不可	平成30年度以降 記録不可	詳細な健診 必須記録	精度記録不可	コード値
医師 の 判 断	○	48	9N5010000000000011	メタボリックシンドローム判定		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~4		-	-	-	-	1:基準値超、2:予群超過、3:超過、4:判定不能
	○	49	9N5060000000000011	保健指導レベル		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~4		-	-	-	-	1:積極的支援、2:動機付け支援、3:なし、4:判定不能
	○	50	9N5110000000000049	医師の診断（判定）		不可	文字列 (全角)	ST	128				-	-	-	-	
	○	(S1)		健康診断を実施した医師の氏名（※1）	医師の診断（判定）		文字列 (全角)		32				-	-	-	-	
			9N5210000000000049	医師の意見			文字列 (全角)	ST	128				-	-	-	-	
				意見を述べた医師の氏名（※5）			文字列 (全角)		32				-	-	-	-	
			9N5310000000000049	歯科医師による健康診断			文字列 (全角)	ST	128				-	-	-	-	
				健康診断を実施した歯科医師の氏名（※5）			文字列 (全角)		32				-	-	-	-	
			9N5410000000000049	歯科医師の意見			文字列 (全角)	ST	128				-	-	-	-	
				意見を述べた歯科医師の氏名（※5）			文字列 (全角)		32				-	-	-	-	
			9N5510000000000049	備考			文字列 (全角)	ST	128				-	-	-	-	
			9N5600000000000011	生活機能評価の結果1			コード (半角)	CD	1	N	1~3		-	-	-	-	1:介護予防事業の利用が継続し、2:医学的な理由により次の介護予防の利用は不適当、3:生活機能の低下なし、4:生活機能の向上あり、5:生活機能の向上あり、6:生活機能の向上あり、7:生活機能の向上あり、8:生活機能の向上あり、9:生活機能の向上あり、10:生活機能の向上あり、11:生活機能の向上あり、12:生活機能の向上あり、13:生活機能の向上あり、14:生活機能の向上あり、15:生活機能の向上あり、16:生活機能の向上あり、17:生活機能の向上あり、18:生活機能の向上あり、19:生活機能の向上あり、20:生活機能の向上あり、21:生活機能の向上あり、22:生活機能の向上あり、23:生活機能の向上あり、24:生活機能の向上あり、25:生活機能の向上あり、26:生活機能の向上あり、27:生活機能の向上あり、28:生活機能の向上あり、29:生活機能の向上あり、30:生活機能の向上あり、31:生活機能の向上あり、32:生活機能の向上あり、33:生活機能の向上あり、34:生活機能の向上あり、35:生活機能の向上あり、36:生活機能の向上あり、37:生活機能の向上あり、38:生活機能の向上あり、39:生活機能の向上あり、40:生活機能の向上あり、41:生活機能の向上あり、42:生活機能の向上あり、43:生活機能の向上あり、44:生活機能の向上あり、45:生活機能の向上あり、46:生活機能の向上あり、47:生活機能の向上あり、48:生活機能の向上あり、49:生活機能の向上あり、50:生活機能の向上あり、51:生活機能の向上あり、52:生活機能の向上あり、53:生活機能の向上あり、54:生活機能の向上あり、55:生活機能の向上あり、56:生活機能の向上あり、57:生活機能の向上あり、58:生活機能の向上あり、59:生活機能の向上あり、60:生活機能の向上あり、61:生活機能の向上あり、62:生活機能の向上あり、63:生活機能の向上あり、64:生活機能の向上あり、65:生活機能の向上あり、66:生活機能の向上あり、67:生活機能の向上あり、68:生活機能の向上あり、69:生活機能の向上あり、70:生活機能の向上あり、71:生活機能の向上あり、72:生活機能の向上あり、73:生活機能の向上あり、74:生活機能の向上あり、75:生活機能の向上あり、76:生活機能の向上あり、77:生活機能の向上あり、78:生活機能の向上あり、79:生活機能の向上あり、80:生活機能の向上あり、81:生活機能の向上あり、82:生活機能の向上あり、83:生活機能の向上あり、84:生活機能の向上あり、85:生活機能の向上あり、86:生活機能の向上あり、87:生活機能の向上あり、88:生活機能の向上あり、89:生活機能の向上あり、90:生活機能の向上あり、91:生活機能の向上あり、92:生活機能の向上あり、93:生活機能の向上あり、94:生活機能の向上あり、95:生活機能の向上あり、96:生活機能の向上あり、97:生活機能の向上あり、98:生活機能の向上あり、99:生活機能の向上あり、100:生活機能の向上あり、101:生活機能の向上あり、102:生活機能の向上あり、103:生活機能の向上あり、104:生活機能の向上あり、105:生活機能の向上あり、106:生活機能の向上あり、107:生活機能の向上あり、108:生活機能の向上あり、109:生活機能の向上あり、110:生活機能の向上あり、111:生活機能の向上あり、112:生活機能の向上あり、113:生活機能の向上あり、114:生活機能の向上あり、115:生活機能の向上あり、116:生活機能の向上あり、117:生活機能の向上あり、118:生活機能の向上あり、119:生活機能の向上あり、120:生活機能の向上あり、121:生活機能の向上あり、122:生活機能の向上あり、123:生活機能の向上あり、124:生活機能の向上あり、125:生活機能の向上あり、126:生活機能の向上あり、127:生活機能の向上あり、128:生活機能の向上あり、129:生活機能の向上あり、130:生活機能の向上あり、131:生活機能の向上あり、132:生活機能の向上あり、133:生活機能の向上あり、134:生活機能の向上あり、135:生活機能の向上あり、136:生活機能の向上あり、137:生活機能の向上あり、138:生活機能の向上あり、139:生活機能の向上あり、140:生活機能の向上あり、141:生活機能の向上あり、142:生活機能の向上あり、143:生活機能の向上あり、144:生活機能の向上あり、145:生活機能の向上あり、146:生活機能の向上あり、147:生活機能の向上あり、148:生活機能の向上あり、149:生活機能の向上あり、150:生活機能の向上あり、151:生活機能の向上あり、152:生活機能の向上あり、153:生活機能の向上あり、154:生活機能の向上あり、155:生活機能の向上あり、156:生活機能の向上あり、157:生活機能の向上あり、158:生活機能の向上あり、159:生活機能の向上あり、160:生活機能の向上あり、161:生活機能の向上あり、162:生活機能の向上あり、163:生活機能の向上あり、164:生活機能の向上あり、165:生活機能の向上あり、166:生活機能の向上あり、167:生活機能の向上あり、168:生活機能の向上あり、169:生活機能の向上あり、170:生活機能の向上あり、171:生活機能の向上あり、172:生活機能の向上あり、173:生活機能の向上あり、174:生活機能の向上あり、175:生活機能の向上あり、176:生活機能の向上あり、177:生活機能の向上あり、178:生活機能の向上あり、179:生活機能の向上あり、180:生活機能の向上あり、181:生活機能の向上あり、182:生活機能の向上あり、183:生活機能の向上あり、184:生活機能の向上あり、185:生活機能の向上あり、186:生活機能の向上あり、187:生活機能の向上あり、188:生活機能の向上あり、189:生活機能の向上あり、190:生活機能の向上あり、191:生活機能の向上あり、192:生活機能の向上あり、193:生活機能の向上あり、194:生活機能の向上あり、195:生活機能の向上あり、196:生活機能の向上あり、197:生活機能の向上あり、198:生活機能の向上あり、199:生活機能の向上あり、200:生活機能の向上あり、201:生活機能の向上あり、202:生活機能の向上あり、203:生活機能の向上あり、204:生活機能の向上あり、205:生活機能の向上あり、206:生活機能の向上あり、207:生活機能の向上あり、208:生活機能の向上あり、209:生活機能の向上あり、210:生活機能の向上あり、211:生活機能の向上あり、212:生活機能の向上あり、213:生活機能の向上あり、214:生活機能の向上あり、215:生活機能の向上あり、216:生活機能の向上あり、217:生活機能の向上あり、218:生活機能の向上あり、219:生活機能の向上あり、220:生活機能の向上あり、221:生活機能の向上あり、222:生活機能の向上あり、223:生活機能の向上あり、224:生活機能の向上あり、225:生活機能の向上あり、226:生活機能の向上あり、227:生活機能の向上あり、228:生活機能の向上あり、229:生活機能の向上あり、230:生活機能の向上あり、231:生活機能の向上あり、232:生活機能の向上あり、233:生活機能の向上あり、234:生活機能の向上あり、235:生活機能の向上あり、236:生活機能の向上あり、237:生活機能の向上あり、238:生活機能の向上あり、239:生活機能の向上あり、240:生活機能の向上あり、241:生活機能の向上あり、242:生活機能の向上あり、243:生活機能の向上あり、244:生活機能の向上あり、245:生活機能の向上あり、246:生活機能の向上あり、247:生活機能の向上あり、248:生活機能の向上あり、249:生活機能の向上あり、250:生活機能の向上あり、251:生活機能の向上あり、252:生活機能の向上あり、253:生活機能の向上あり、254:生活機能の向上あり、255:生活機能の向上あり、256:生活機能の向上あり、257:生活機能の向上あり、258:生活機能の向上あり、259:生活機能の向上あり、260:生活機能の向上あり、261:生活機能の向上あり、262:生活機能の向上あり、263:生活機能の向上あり、264:生活機能の向上あり、265:生活機能の向上あり、266:生活機能の向上あり、267:生活機能の向上あり、268:生活機能の向上あり、269:生活機能の向上あり、270:生活機能の向上あり、271:生活機能の向上あり、272:生活機能の向上あり、273:生活機能の向上あり、274:生活機能の向上あり、275:生活機能の向上あり、276:生活機能の向上あり、277:生活機能の向上あり、278:生活機能の向上あり、279:生活機能の向上あり、280:生活機能の向上あり、281:生活機能の向上あり、282:生活機能の向上あり、283:生活機能の向上あり、284:生活機能の向上あり、285:生活機能の向上あり、286:生活機能の向上あり、287:生活機能の向上あり、288:生活機能の向上あり、289:生活機能の向上あり、290:生活機能の向上あり、291:生活機能の向上あり、292:生活機能の向上あり、293:生活機能の向上あり、294:生活機能の向上あり、295:生活機能の向上あり、296:生活機能の向上あり、297:生活機能の向上あり、298:生活機能の向上あり、299:生活機能の向上あり、300:生活機能の向上あり、301:生活機能の向上あり、302:生活機能の向上あり、303:生活機能の向上あり、304:生活機能の向上あり、305:生活機能の向上あり、306:生活機能の向上あり、307:生活機能の向上あり、308:生活機能の向上あり、309:生活機能の向上あり、310:生活機能の向上あり、311:生活機能の向上あり、312:生活機能の向上あり、313:生活機能の向上あり、314:生活機能の向上あり、315:生活機能の向上あり、316:生活機能の向上あり、317:生活機能の向上あり、318:生活機能の向上あり、319:生活機能の向上あり、320:生活機能の向上あり、321:生活機能の向上あり、322:生活機能の向上あり、323:生活機能の向上あり、324:生活機能の向上あり、325:生活機能の向上あり、326:生活機能の向上あり、327:生活機能の向上あり、328:生活機能の向上あり、329:生活機能の向上あり、330:生活機能の向上あり、331:生活機能の向上あり、332:生活機能の向上あり、333:生活機能の向上あり、334:生活機能の向上あり、335:生活機能の向上あり、336:生活機能の向上あり、337:生活機能の向上あり、338:生活機能の向上あり、339:生活機能の向上あり、340:生活機能の向上あり、341:生活機能の向上あり、342:生活機能の向上あり、343:生活機能の向上あり、344:生活機能の向上あり、345:生活機能の向上あり、346:生活機能の向上あり、347:生活機能の向上あり、348:生活機能の向上あり、349:生活機能の向上あり、350:生活機能の向上あり、351:生活機能の向上あり、352:生活機能の向上あり、353:生活機能の向上あり、354:生活機能の向上あり、355:生活機能の向上あり、356:生活機能の向上あり、357:生活機能の向上あり、358:生活機能の向上あり、359:生活機能の向上あり、360:生活機能の向上あり、361:生活機能の向上あり、362:生活機能の向上あり、363:生活機能の向上あり、364:生活機能の向上あり、365:生活機能の向上あり、366:生活機能の向上あり、367:生活機能の向上あり、368:生活機能の向上あり、369:生活機能の向上あり、370:生活機能の向上あり、371:生活機能の向上あり、372:生活機能の向上あり、373:生活機能の向上あり、374:生活機能の向上あり、375:生活機能の向上あり、376:生活機能の向上あり、377:生活機能の向上あり、378:生活機能の向上あり、379:生活機能の向上あり、380:生活機能の向上あり、381:生活機能の向上あり、382:生活機能の向上あり、383:生活機能の向上あり、384:生活機能の向上あり、385:生活機能の向上あり、386:生活機能の向上あり、387:生活機能の向上あり、388:生活機能の向上あり、389:生活機能の向上あり、390:生活機能の向上あり、391:生活機能の向上あり、392:生活機能の向上あり、393:生活機能の向上あり、394:生活機能の向上あり、395:生活機能の向上あり、396:生活機能の向上あり、397:生活機能の向上あり、398:生活機能の向上あり、399:生活機能の向上あり、400:生活機能の向上あり、401:生活機能の向上あり、402:生活機能の向上あり、403:生活機能の向上あり、404:生活機能の向上あり、405:生活機能の向上あり、406:生活機能の向上あり、407:生活機能の向上あり、408:生活機能の向上あり、409:生活機能の向上あり、410:生活機能の向上あり、411:生活機能の向上あり、412:生活機能の向上あり、413:生活機能の向上あり、414:生活機能の向上あり、415:生活機能の向上あり、416:生活機能の向上あり、417:生活機能の向上あり、418:生活機能の向上あり、419:生活機能の向上あり、420:生活機能の向上あり、421:生活機能の向上あり、422:生活機能の向上あり、423:生活機能の向上あり、424:生活機能の向上あり、425:生活機能の向上あり、426:生活機能の向上あり、427:生活機能の向上あり、428:生活機能の向上あり、429:生活機能の向上あり、430:生活機能の向上あり、431:生活機能の向上あり、432:生活機能の向上あり、433:生活機能の向上あり、434:生活機能の向上あり、435:生活機能の向上あり、436:生活機能の向上あり、437:生活機能の向上あり、438:生活機能の向上あり、439:生活機能の向上あり、440:生活機能の向上あり、441:生活機能の向上あり、442:生活機能の向上あり、443:生活機能の向上あり、444:生活機能の向上あり、445:生活機能の向上あり、446:生活機能の向上あり、447:生活機能の向上あり、448:生活機能の向上あり、449:生活機能の向上あり、450:生活機能の向上あり、451:生活機能の向上あり、452:生活機能の向上あり、453:生活機能の向上あり、454:生活機能の向上あり、455:生活機能の向上あり、456:生活機能の向上あり、457:生活機能の向上あり、458:生活機能の向上あり、459:生活機能の向上あり、460:生活機能の向上あり、461:生活機能の向上あり、462:生活機能の向上あり、463:生活機能の向上あり、464:生活機能の向上あり、465:生活機能の向上あり、466:生活機能の向上あり、467:生活機能の向上あり、468:生活機能の向上あり、469:生活機能の向上あり、470:生活機能の向上あり、471:生活機能の向上あり、472:生活機能の向上あり、473:生活機能の向上あり、474:生活機能の向上あり、475:生活機能の向上あり、476:生活機能の向上あり、477:生活機能の向上あり、478:生活機能の向上あり、479:生活機能の向上あり、480:生活機能の向上あり、481:生活機能の向上あり、482:生活機能の向上あり、483:生活機能の向上あり、484:生活機能の向上あり、485:生活機能の向上あり、486:生活機能の向上あり、487:生活機能の向上あり、488:生活機能の向上あり、489:生活機能の向上あり、490:生活機能の向上あり、491:生活機能の向上あり、492:生活機能の向上あり、493:生活機能の向上あり、494:生活機能の向上あり、495:生活機能の向上あり、496:生活機能の向上あり、497:生活機能の向上あり、498:生活機能の向上あり、499:生活機能の向上あり、500:生活機能の向上あり、501:生活機能の向上あり、502:生活機能の向上あり、503:生活機能の向上あり、504:生活機能の向上あり、505:生活機能の向上あり、506:生活機能の向上あり、507:生活機能の向上あり、508:生活機能の向上あり、509:生活機能の向上あり、510:生活機能の向上あり、511:生活機能の向上あり、512:生活機能の向上あり、513:生活機能の向上あり、514:生活機能の向上あり、515:生活機能の向上あり、516:生活機能の向上あり、517:生活機能の向上あり、518:生活機能の向上あり、519:生活機能の向上あり、520:生活機能の向上あり、521:生活機能の向上あり、522:生活機能の向上あり、523:生活機能の向上あり、524:生活機能の向上あり、525:生活機能の向上あり、526:生活機能の向上あり、527:生活機能の向上あり、528:生活機能の向上あり、529:生活機能の向上あり、530:生活機能の向上あり、531:生活機能の向上あり、532:生活機能の向上あり、533:生活機能の向上あり、534:生活機能の向上あり、535:生活機能の向上あり、536:生活機能の向上あり、537:生活機能の向上あり、538:生活機能の向上あり、539:生活機能の向上あり、540:生活機能の向上あり、541:生活機能の向上あり、542:生活機能の向上あり、543:生活機能の向上あり、544:生活機能の向上あり、545:生活機能の向上あり、546:生活機能の向上あり、547:生活機能の向上あり、548:生活機能の向上あり、549:生活機能の向上あり、550:生活機能の向上あり、551:生活機能の向上あり、552:生活機能の向上あり、553:生活機能の向上あり、554:生活機能の向上あり、555:生活機能の向上あり、556:生活機能の向上あり、557:生活機能の向上あり、558:生活機能の向上あり、559:生活機能の向上あり、560:生活機能の向上あり、561:生活機能の向上あり、562:生活機能の向上あり、563:生活機能の向上あり、564:生活機能の向上あり、565:生活機能の向上あり、566:生活機能の向上あり、567:生活機能の向上あり、568:生活機能の向上あり、569:生活機能の向上あり、570:生活機能の向上あり、571:生活機能の向上あり、572:生活機能の向上あり、573:生活機能の向上あり、574:生活機能の向上あり、575:生活機能の向上あり、576:生活機能の向上あり、577:生活機能の向上あり、578:生活機能の向上あり、579:生活機能の向上あり、580:生活機能の向上あり

※ 最新バージョンに準ずる支払基金と共通のチェック仕様の変更については、最新編付け、赤字で表示
※ 最新バージョンに準ずる関係協会のチェック仕様の変更については、関係協会は「支払基金との共通チェックを関係協会の仕様としてチェックを行わない」ことを示す
※ 既存の関係協会の仕様に関しては、関係協会の、赤字で表示（関係協会は「支払基金との共通チェックを関係協会の仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラー レベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系OIDが誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型（属性）が「文字列（全角）」の項目に対し、11hexで入力された全角記号（～、～）が含まれている場合はWindowsで印刷出来る全角記号（～、～）に自動補正を行う	-	-	-
4	項目(JLAC10コード)に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること ○：いずれか1つ以上、項目が存在すること(同一グループ内で選可) ●：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) △：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) ただし、関連する項目値が2未満又は「L」(入力最小値の範囲外)の場合は除く なお、「No4-3 腫瘍(自己申告)」のみ未実施以外で記録されている場合はBMMが2未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があり ▲：いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1～4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、NO21-1～4を除く(補正資料2を参照) □：当該項目が未実施以外で存在し、かつ関連する項目がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合、 関連する項目がNO25-1～4の場合、項目値が2(食後10時間以上)であること 関連する項目がNO26-1～4の場合、項目値が3(食後3.5時間以上10時間未満)であること ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(NO.27-1～4)がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(NO.28-1～4)がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■：関連する項目のコードが1(あり)の場合、当該項目が存在すること	受付不可	O:L2101 O:L2101 ●:L2101 △:L2101 L2416 ▲:L2101 L2422 □:L2401 ■:L2401	O:データファイルの「項目名」が記録されていません。 O:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 ●:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 △:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 腫瘍(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMMが2未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があり ▲:データファイルの「同一性項目名」が記録されていません。 対象健診年度が(対象健診年度)においてデータファイルの「項目名」に「HbA1c」の検査結果が記録されています。 □:データファイルの「項目名」(値)とデータファイルの「項目名」(値)との関連が誤っています。 ■:データファイルの「項目名」(値)とデータファイルの「項目名」(値)との関連が誤っています。
5	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、同一検査内ののいずれかが記録されていない又は未実施として記録されている	受付不可	L2425	詳細な健診において、データファイルの「項目名」が記録されていない又は未実施として記録されています。
6	同一検査内の●が2つ以上同時に、未実施以外で記録されている	受付不可	L2426	同時記録が認められていない項目が記録されています。【項目名】
7	特定健診検査・問診セッションに記録された場合、検査対象者に関するコード値の組み合わせが誤っている	受付不可	L2427	詳細な健診において、データファイルの「項目名」に誤ったコード値が記録されています。【値】
8	平成29年度以前記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。【値】
9	平成30年度以降記録不可の項目	受付不可	L2423	対象健診年度が平成30年度以降において、記録が認められていないデータファイルの「項目名」が記録されています。【値】
10	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation要素のnegationInd属性が「true」)で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。【項目名】
11	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの「項目名」が「形式名」形式で記録されています。【値】
12	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	測定値(CD等):データファイルの「項目名」が「文字数」文字で記録されていません。【値】 可変長(S等):データファイルの「項目名」が「文字数」文字以内で記録されていません。【値】
13	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	【項目名】に誤った形式の値が記録されています。【値】
14	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの「項目名」に対し範囲（「入力最小値」～「入力最大値」）外の値が記録されています。【値】
15	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの「項目名」に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
16	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの「項目名」において範囲（「入力最小値」～「入力最大値」）外の記録値に対応するコード値が誤っています。【値】
17	1CDAセッションコード内に同じ項目(JLAC10コード)が複数記録されている。	受付不可	L2106	CDセッションコード(値)内に重複した検査項目コード(値)が存在します。
18	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「範囲最小値」≧「記録された値」≧「範囲最大値」に記録された値のこと ※：XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外で結果解釈コード(interpretationCode)が指定されていない。又は、結果解釈コードの内容が誤っている(H、L、N以外)	受付不可	L2405	データファイルの「項目名」に対し範囲（「下層値」～「上層値」）外の値が記録されています。【値】
19	※：範囲内とは、「基準値の下限値」≧「記録された値」≧「基準値の上限値」に記録された値のこと 一層検査グループコードが誤って記録されている。 21 JLAC10コードが存在しない項目が存在している。	受付不可	L2414	データファイルの「項目名」において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
20	22 検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2110	特定健診データファイル内の一層検査グループコードに誤ったコードが入力されています。【値】
21	21 JLAC10コードが存在しない項目が存在している。	受付不可	L2109	特定健診データファイル内にJLAC10コードが入力されていない項目が存在しています。
22	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されていません。
23	平成29年度以前において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前において、データファイルの「項目名」に誤ったコード値が記録されています。
24	平成30年度以降において、項目値が範囲外	受付不可	L2424	対象健診年度が平成30年度以降において、データファイルの「項目名」に誤ったコード値が記録されています。

(注意1)下記の条件を満たす場合はNo10以降のチェックを行わない
・対象健診年度が平成29年度以前の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
・対象健診年度が平成30年度以降の場合、項目(JLAC10コード)が記録不可
(注意2)下記の条件を満たす場合はNo11以降のチェックを行わない
・未実施の項目(observation要素のnegationInd属性が「true」)
例) <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true">
測定不可な項目(value要素のnullFlavor属性が「N」)
例) <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI" />
・対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目(value要素のxsi:type属性が「CD」でcode属性が「H」又は「L」)
※：範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと
※：XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外で記録が可能
例) <value xsi:type="CD" code="H" />
(注意3)下記の特定健診項目に記録されている項目以外については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査法コード、基準上限値・下限値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする(チェック対象は要素が存在した場合とする)
・項目のXMLデータ型がPQ(xsi:type="PQ")の測定値
形式:半角数字(マイナス等記号は不可) 桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内
・項目のXMLデータ型がCD(xsi:type="CD")の測定値
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
・項目のXMLデータ型がCQ(xsi:type="CQ")の測定値
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
・項目のXMLデータ型がST(xsi:type="ST")の測定値
形式:全角文字(半角文字は不可) 桁数:128桁以内
(注意4)下記の条件を満たす場合はNo11～13、18、22～24のチェックを行わない
・対象健診年度が平成25年度以降の場合で、XMLデータ型がPQの項目に対して、xsi:type属性がそれぞれ「PQ」、「CD」である2つのvalue要素が記録された場合のCD(下記の例における2番目のvalue要素)
例) <code code="9N0010000000000001" />
<value xsi:type="PQ" value="300.0" unit="cm" />
<value xsi:type="CD" code="H" />
(注意5)
・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成29年度以前とする。
・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成30年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。

【現状の補正処理】
JLAC10コードに紐付くXMLデータ型と、ファイルに入力されたvalue要素のxsi:type属性が異なる場合は、ファイルの入力値を、JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型に補正する。

例)JLAC10コードを元に取得したXMLデータ型:PQ
↓
【補正前】
<value xsi:type="CD" value="100"/>
↓
【補正後】
<value xsi:type="PQ" value="100"/>
※補正前の値が"AA"などの不正な値でも補正を行う。

【追加する補正処理】
XMLデータ型が"PQ"で、コード属性が"H"or"L"のものは、xsi:typeを"CD"に補正する。

【補正前】
<value xsi:type="PQ" code="H" />
↓
【補正後】
<value xsi:type="CD" code="H" />

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果種別)	項目名	関連項目	未実施の 記録可否	データ型 (属性)	XMLデータ 型	最大 文字数	形式 ※8	項目値(コード値) の範囲	入力最小・最大値の 範囲	平成29年度以降 記録不可	平成30年度以降 記録不可	詳細な健診 必須記録	複数記録不可	コード値
生活機能			9N86100000000000011	生活機能問診11			コード (全角)	CD	1	N	0～1			-	-	-	1:はい、0:いいえ
			9N86600000000000001	生活機能問診12			数値 (全角)	PQ	4	NNN	0.0～99.9		-	-	-	-	
			9N87100000000000011	生活機能問診13			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	1:はい、0:いいえ
			9N87600000000000011	生活機能問診14			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	1:はい、0:いいえ
			9N88100000000000011	生活機能問診15			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	1:はい、0:いいえ
			9N88600000000000011	生活機能問診16			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	0:はい、1:いいえ
			9N89100000000000011	生活機能問診17			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	1:はい、0:いいえ
			9N89600000000000011	生活機能問診18			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	1:はい、0:いいえ
			9N90100000000000011	生活機能問診19			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	0:はい、1:いいえ
			9N90600000000000011	生活機能問診20			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	1:はい、0:いいえ
			9N91100000000000011	生活機能問診21			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	1:はい、0:いいえ
			9N91600000000000011	生活機能問診22			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	1:はい、0:いいえ
			9N92100000000000011	生活機能問診23			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	1:はい、0:いいえ
			9N92600000000000011	生活機能問診24			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	1:はい、0:いいえ
			9N93100000000000011	生活機能問診25			コード (全角)	CD	1	N	0～1		-	-	-	-	1:はい、0:いいえ
情報提供	82		9N95000000000000011	情報提供の方法			コード (半角)	CD	1	N	1～3		○	-	-	-	1:付加価値の高い情報提供、2:専門職による対応説明、3:1と2両方実施 ※1～3に当てはまらない場合は出現させない
初回直接実施	83		9N80700000000000011	初回直接実施			コード (半角)	CD	1	N	1		○	-	-	-	1:健診当日に初回直接実施 ※1～3に当てはまらない場合は出現させない

※1 「健診診断を実施した医師の氏名」の項目有難は、「医師の診断(判定)」のauthor/assignedAuthor/assignedPerson/name要素で有難する。
※2 男女区分が女性である場合、チェック対象外とする。
※3 健康調査票(保健指導票)の先頭2桁が「39」である場合、チェック対象外とする。
※4 一部の項目(JLAC10コード)に記録されている場合、右側の項目の値を空にする。
※5 「医師の氏名」等の項目は、診断所見等のauthor/assignedAuthor/assignedPerson/name要素で設定する。
※6 特定健診実施年度が平成25年度以降の場合、データ型がPQの項目に対してはチェックを行わない。
※7 特定健診検査・問診セッションに記録された場合、未実施での記録を不可とする。
※8 小数点を含む形式の場合、小数点以下は省略可能

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
※ 最新バージョンに伴う国保独自のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
※ 既存の国保独自仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定保健指導データファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・特定保健指導データファイルのファイル名が命名規則に準拠していない、又はファイル名の“種別”がルートフォルダ名の“種別”と一致していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2 7 0 1	データファイルのファイル名が誤っています。[ファイル名] [(桁数)桁目が(エラー理由)]
	・対となる特定保健指導決済情報ファイルが存在しない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2 7 0 4	データファイル[ファイル名]に対応する決済情報ファイルがありません。
	・文字コードが不正（UTF 8 以外）、又はXMLファイルとして認識できない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2 8 0 2	データファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名]
	・ルートタグが誤っている場合、以降のチェックを行わない	L 2 8 0 6	データファイルのルートタグの記録が誤っています。誤[値] 正[正常値]
	・名前空間（ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsi属性、xsi:schemaLocation属性の各設定値）が「電子的な標準様式の仕様」に準拠していない場合は自動補正を行う	-	-
	・モード（形式）が「全角文字又は半角英数」、及び「全角文字」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号（～、～）が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号（～、～）に自動補正を行う。	-	-
	・各項目のチェックを実施する前に報告区分、保健指導区分のチェックを行い、エラーの場合は以降のチェックを行わない	-	-
	・各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付不可」とする	L 2 1 0 1	(項目名)が記録されていません。
	・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付不可」とする	L 2 2 0 3	(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]
	・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付不可」とする（一部例外あり）	L 2 2 0 2	固定長：(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長：(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
2次チェック	・特定保健指導データのXML形式構造定義ファイル（XMLスキーマファイル）に準拠していない場合は「受付不可」とする（なお、受付エラー連絡書には参考としてエラーメッセージを最大3つまで表示する）	L 2 8 0 3	データファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。[ファイル名]このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。 参照メッセージ[エラーメッセージ]
	・各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付不可」とする	下記参照	

ファイルの記録内容		項目（要素）名称	モード （形式）	最大 文字数	データ 形式	チェック可否								コード値 （国保取扱い分のみ）	2次チェック内容 （補足説明など）	エラー レベル	エラーコード	エラーメッセージ	
						初回請求時			最終請求時			途中終了時							初回未完了 時（報告区 分：25）
						積極的支 援（保健 指導区 分：1）	動機づけ 支援（保 健指導 区分：2）	動機付け 支援相当 （保健指 導区分：3）	積極的支 援（保健 指導区 分：1）	動機づけ 支援（保 健指導 区分：2）	動機付け 支援相当 （保健指 導区分：3）	積極的支援 （保健指導 区分：1）							
特定 保健 指導 情報	報告区分	半角数字	2	固定	○				○			○	2 1：特定保健指導（開始（初回請求）時） 2 2：特定保健指導（実績評価（最終請求）時） 2 3：特定保健指導（途中終了時） 2 4：その他（チェック可否については初回請求：積極 的支援と同じ） 2 5：特定保健指導（初回未完了）	・左記のコード値のいずれがであること	受付不可	L 2 3 0 1	データファイルの報告区分に誤ったコード値が記録されています。[値]		
													・2 5：特定保健指導（初回未完了）のとき、利用券整理番号の3桁目が「5」であること	受付不可	L 2 4 2 8	データファイルの報告区分が25:特定保健指導（初回未完了）の場合、利用券（セット券）整理番号の3桁目は5:セット券である必要があります。			
													・対象健診年度が平成29年度以前において「2 5：特定保健指導（初回未完了）」が記録されて いないこと	受付不可	L 2 4 2 4	対象健診年度が平成29年度以前においてデータファイルの報告区分に誤ったコード値が記録されてい ます。[値]			
	ファイル作成日	半角日付 （YYYYMMDD）	8	固定	○				○			○	・未末日付（システム日付の翌日以降の日付）でないこと	受付不可	L 2 4 0 8	データファイルのファイル作成日に未末日が記録されています。[値]			
	利用者情報	保険者番号	半角数字	8	固定	○			○			○	・決済情報ファイルの利用者情報の当該項目と同じであること ※・先頭2桁が「67」の場合、先頭2桁を「00」に置き換えた保険者番号で比較する	受付不可	L 2 4 0 1	データファイルの保険者番号[値]と決済情報ファイルの保険者番号[値]との関連が誤っています。			
		被保険者証等記号	全角文字又は半角英 数	2 0	可変	△			△			△							
		被保険者証等番号	全角文字又は半角英 数	2 0	可変	○			○			○							
		氏名	全角カタカナ	2 0	可変	○			○			○							
		生年月日	半角日付 （YYYYMMDD）	8	固定	○			○			○							
		男女区分	半角数字	1	固定	○			○			○							
		郵便番号	半角英数 （999-9999）	8	固定	○			○			○							
	特定保健指導情報ファイル 作成機関情報	ファイル作成日	半角日付 （YYYYMMDD）	8	固定	○			○			○							
		特定健診機関番号	半角数字	1 0	固定	○			○			○							
		名称	全角文字	2 0	可変	○			○			○							
		郵便番号	半角英数 （999-9999）	8	固定	△			△			△							
		所在地	全角英数	4 0	可変	△			△			△							
		電話番号	半角英数 （tel:999999999999）	1 5	可変	△			△			△							
		受診券・利用券情報	特定健診受診券整理番号	半角数字	1 1	固定	△			△			△		※・本項目はチェックしない				
	特定健診受診券発行保険者番号		半角数字	8	固定	○			○			○		※・本項目はチェックしない					
	利用券整理番号		半角数字	1 1	固定	○			○			○							
	利用券有効期限		半角日付 （YYYYMMDD）	8	固定	○			○			○							
	利用券発行保険者番号		半角数字	8	固定	○			○			○							
	保健指導実施情報	保健指導実施時のプログラム種別	半角数字	3	固定	○			○			○		・1 0 0であること	受付不可	L 2 3 0 1	データファイルの保健指導実施記録のプログラム種別に誤ったコード値が記録されています。[値]		
		保健指導実施年月日	半角日付 （YYYYMMDD）	8	固定	○			○			○							
		保健指導実施機関番号	半角数字	1 0	固定	○			○			○		・決済情報ファイルの利用者情報の当該項目と同じであること	受付不可	L 2 4 0 1	データファイルの保健指導実施機関番号[値]と決済情報ファイルの利用者の保健指導実施機関番号[値] との関連が誤っています。		
		保健指導実施機関名称	全角文字	2 0	可変	○			○			○							
		保健指導実施機関郵便番号	半角英数 （999-9999）	8	固定	○			○			○							
		保健指導実施機関所在地	全角英数	4 0	可変	○			○			○							
		保健指導実施機関電話番号	半角英数 （tel:999999999999）	1 5	可変	○			○			○							
	保健指導結果情報	CDAセクションのコード	半角数字	5	固定	○	○	○	○	○	○	○	9 0 0 1 0：指導共通情報セクション 9 0 0 2 0：指導初回1情報セクション 9 0 0 3 0：指導初回情報セクション 9 0 0 4 0：継続支援情報セクション 9 0 0 5 0：中間評価情報セクション 9 0 0 6 0：最終評価情報セクション 9 0 0 7 0：指導集計情報セクション 9 0 0 8 0：指導機関情報セクション	※・特定保健指導項目チェックシートを参照	受付不可				
		指導情報	保健指導区分																

※ 1. チェック可否の意味は下記のとおり
○：あり（要素及び項目値が存在すること） ×：なし（要素が存在しないこと） △：任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） -：チェックしない

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
※ 最新バージョンに伴う国保独自のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定保健指導決済情報ファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・特定保健指導決済情報ファイルのファイル名が命名規則に準拠していない、又はファイル名の”種別”がルートフォルダ名の”種別”と一致していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない ・別となる特定保健指導データファイルが存在しない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない ・文字コードが不正（UTF8以外）、又はXMLファイルとして認識できない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない ・ルートタグが誤っている場合、以降のチェックを行わない ・名前空間（ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsi属性、xsi:schemaLocation属性の各設定値）が「電子的な標準様式の仕様」に準拠していない場合は自動補正を行う ・モード（形式）が「全角文字又は半角英数」、及び「全角文字」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号（、～）が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号（、～）に自動補正を行う。 ・各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付不可」とする ・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付不可」とする ・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付不可」とする（一部例外あり）	L2701 L2704 L2802 L2806 - L2101 L2203 L2202 L2803	決済情報ファイルのファイル名が誤っています。[ファイル名] [桁数]桁目が[エラー理由] 決済情報ファイル[ファイル名]に対応するデータファイルがありません。 決済情報ファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名] 決済情報ファイルのルートタグの記録が誤っています。誤[値]正[正常値] - (項目名)が記録されていません。 (項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値] 固定長: (項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長: (項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値] 決済情報ファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。[ファイル名]このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。 警告メッセージ[エラーメッセージ]
2次チェック	・特定保健指導決済情報のXML形式構造定義ファイル（XMLスキーマファイル）に準拠していない場合は「受付不可」とする（なお、受付エラー連絡書には参考としてエラーメッセージを最大3つまで表示する） ・当月処理において決済情報ファイル名と同一の決済情報ファイルが既に請求分又は清算・過剰分として存在する場合は、「受付不可」とする ・当月を含む過去3ヶ月以内の請求処理において決済情報ファイルに記録されている項目（実施区分、特定健診機関番号、保険者番号、受診券整理番号、生年月日、男女区分）と同一の内容の決済情報ファイルが存在する場合は、「受付不可」とする ・オンラインの保険者からの返戻受付期間は保険者報告1回目（23日頃）の翌月から受付開始とする ・各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付不可」とする	L2712 L2708 L2711 下記参照	

ファイルの記録内容	項目（要素）名称	モード （形式）	最大 文字数	データ 形式	チェック可否							コード値 （国保取扱いのみ）	2次チェック内容 （補足説明など）	エラー レベル	エラーコード	エラーメッセージ		
					積極的支援 （保健指導区分：1）	動機づけ支援 （保健指導区分：2）	動機付け支援相当 （保健指導区分：3）	積極的支援 （保健指導区分：1）	動機づけ支援 （保健指導区分：2）	動機付け支援相当 （保健指導区分：3）	積極的支援 （保健指導区分：1）						初回未完了時（報告区分：25）	
																		初回請求時
利用情報	実施区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○	○	○	○	2：特定保健指導	・ 2であること ・ ルートフォルダ名の”種別”と一致していること	受付不可	1：L2301 2：L2401	1：決済情報ファイルの実施区分に誤ったコード値が記録されています。[値] 2：決済情報ファイルの実施区分[値]とルートフォルダの種別[値]との関連が誤っています。	
	保健指導区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○	○	○	○	1：積極的支援 2：動機づけ支援 3：動機付け支援相当	・ 左記のコード値の何れかであること ・ 3：動機付け支援相当のとき、利用券整理番号の3桁目が「4」であること	受付不可	L2301 L2428	決済情報ファイルの保健指導レベルに誤ったコード値が記録されています。[値] 決済情報ファイルの実施時点が3:動機付け支援相当の場合、利用券（セット券）整理番号の3桁目は4:利用券（動機付け支援相当）である必要があります。	
	実施時点	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○	○	○	○	1：開始時 2：実績評価時 3：途中終了（資格喪失による利用停止・脱落等）時 4：その他（チェック可否については初回請求：積極的支援と同じ） 5：初回未完了	・ 左記のコード値の何れかであること ・ データファイルの報告区分の2桁目と同じであること ・ 3：途中終了のとき、支援レベル保健指導区分が「2：動機付け支援」でないこと ・ 3：途中終了のとき、保健指導区分が「3：動機付け支援相当」でないこと	受付不可	1：L2301 2：L2401 3：L2409 4：L2431	1：決済情報ファイルの実施時点に誤ったコード値が記録されています。[値] 2：決済情報ファイルの実施時点[値]とデータファイルの種別の2桁目[値]との関連が誤っています。 3：決済情報ファイルの保健指導レベルが動機付け支援[2]の時に決済情報ファイルの実施時点に途中終了時[3]が記録されています。 4：決済情報ファイルの保健指導区分が動機付け支援相当[3]の時に決済情報ファイルの実施時点に途中終了時[3]が記録されています。	
													・ 5：初回未完了のとき、利用券整理番号の3桁目が「5」であること	受付不可	L2428	決済情報ファイルの実施時点が5:初回未完了の場合、利用券（セット券）整理番号の3桁目は5:セット券である必要があります。		
													・ 対象健診年度が平成29年度以前において「5：初回未完了」が記録されていないこと	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前において決済情報ファイルの実施時点に誤ったコード値が記録されています。[値]		
	特定保健指導決済情報	保健指導実施機関番号	半角数字	10	固定	○	○	○	○	○	○	○	○	・ 決済情報ファイル名の2桁目から10桁で記録される「保健指導実施機関番号」と一致すること ・ 機関マスタに存在すること ・ ルートフォルダ名の「健診等機関番号」と同じであること	受付不可	1：L2401 2：L2302 3：L2603	1：決済情報ファイルの保健指導実施機関番号[値]と決済情報ファイルのファイル名の保健指導実施機関番号[値]との関連が誤っています。 2：決済情報ファイルの保健指導実施機関番号がシステムに登録されていません。[値]	
		保険者番号	半角数字	8	固定	○	○	○	○	○	○	○	○	・ 保険者マスタに存在すること ・ 先頭2桁が「67」の場合、先頭2桁を「00」に置き換えた保険者番号が保険者マスタに存在すること	受付不可	L2302	決済情報ファイルの保険者番号がシステムに登録されていません。[値]	
		被保険者証等記号	全角文字又は半角英数	20	可変	△	△	△	△	△	△	△	△					
		被保険者証等番号	全角文字又は半角英数	20	可変	○	○	○	○	○	○	○	○					
	利用者情報	氏名	全角カナ	20	可変	○	○	○	○	○	○	○	○					
生年月日		半角日付 （YYYYMMDD）	8	固定	○	○	○	○	○	○	○	○		・ 未来日付（システム日付の翌日以降の日付）でないこと	受付不可	L2408	決済情報ファイルの生年月日に未来日が記録されています。[値]	
男女区分		半角数字	1	固定	○	○	○	○	○	○	○	○	1：男 2：女	・ 左記のコード値の何れかであること	受付不可	L2301	決済情報ファイルの男女区分に誤ったコード値が記録されています。[値]	
郵便番号		半角英数 （999-9999）	8	固定	○	○	○	○	○	○	○	○						
利用券整理番号		半角数字	11	固定	○	○	○	○	○	○	○	○						
特定健診受診券整理番号		半角数字	11	固定	○	○	○	○	○	○	○	○						
利用券有効期限		半角日付 （YYYYMMDD）	8	固定	○	○	○	○	○	○	○	○						
窓口負担		窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△	△	△	1：負担なし 2：定額負担（単位：円） 3：定率負担（単位：%） 4：保険者負担上限額（単位：円）	・ 左記のコード値の何れかであること ※、特定健診と同様、利用券情報マスタを使用して処理する。 ※、左記のコード値であること ※、特定健診と同様、利用券情報マスタを使用して処理する。	受付不可	L2301 L2301	決済情報ファイルの窓口負担の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値] 決済情報ファイルの窓口負担の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]	
支払割合		半角数字	6	固定	△	△	△	△	△	△	△	△						
計画上的ポイント数		半角数字	9	可変	○	○	○	○	○	○	○	○						
決済情報	算定金額	半角数字	9	可変	○	○	○	○	○	○	○	○						
	窓口負担金額	徴収コード	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○	○	○	1：初回指導時全額徴収方式の場合 2：それ以外の場合	・ 左記のコード値の何れかであること	受付不可	L2301	決済情報ファイルの窓口負担金額の徴収コードに誤ったコード値が記録されています。[値]	
	請求金額	半角数字	9	可変	○	○	○	○	○	○	○	○						

※1. チェック可否の意味は下記のとおり
○: あり（要素及び項目値が存在すること） ×: なし（要素が存在しないこと） △: 任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） -: チェックしない

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示
※ 最新バージョンに伴う関係項目のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
※ 既存の関係独自仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定保健指導項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、～)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、～)に自動補正を行う。	-	-	-
2	セクションコードに対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目が当該報告区分の時に必ず存在すること ×：当該項目が当該報告区分の時に存在しないこと	受付不可	L2101 L2113	○：データファイルに必須の(セクション名)セクションコードが記録されていません。 ×：記録が認められていないNOが記録されています。[NO]
3	保健指導項目に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※1参照) □：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内にいずれか1つ以上、項目が存在すること ■：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、■が存在する場合は除く △：セット券の場合	受付不可	O:L2101 O:L2101 □:L2101 ■:L2101	O:データファイルの(項目名)が記録されていません。 O:データファイルの(同一姓項目名)が記録されていません。 □:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ■:データファイルの(項目名)が記録されていません。
4	複数記録が許されない項目が複数記録されている。	受付不可	L2105	重複が許されない項目が複数記録されています。[項目名]
5	1特定保健指導データファイル内で保健指導項目コードが重複して記録されている。	受付不可	L2107	特定保健指導結果情報内に重複した保健指導項目コード(値)が存在します。
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]
7	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている	受付不可	L2206	(項目名)に属したXMLデータ型が記録されています。属(属)正(値)
8	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	固定長(CD等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長(ST等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
9	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	
10	上限・下限が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※ 範囲内とは、「範囲最小値」≧「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(「下限値」～「上限値」)外の値が記録されています。[値]
11	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※ 範囲内とは、「下限値(20ポイント、160ポイント)」≦「記録された値」≦「上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(「下限値」～「上限値」)外の値が記録されています。[値]
12	平成29年度以前において、記録不可の項目が設定されている	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルのセクションコードが記録されています。
13	平成29年度以前において、記録不可の項目が設定されている	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
14	平成29年度以前において、記録不可の項目値(コード値)が設定されている	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。[値]
15	平成30年度以降において、記録必須の項目が設定されていない	受付不可	L2430	対象健診年度が平成30年度以降において、データファイルの(項目名)が記録されていません。
16	属したコード値が設定されている	受付不可	L2301	データファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。[値]

(注意1)下記の保健指導項目以外についてはチェックを行わない
(注意2)
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」未満の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」以上の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
■平成29年度以前と平成30年度以降との年度判定方法
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「18」未満の場合、対象健診年度を平成29年度以前とする。
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「18」以上の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。
※ 特定保健指導データファイルの利用券整理番号が不正な値又は取得出来なかった場合、平成30年度以降の対象健診年度と判定する。

番号	セクションコード	セクション名	初回請求時 (報告区分：21)			最終請求時 (報告区分：22)			初回未完了時 (報告区分：25)	平成29年度以前 記録不可	項目コード	項目名	初回請求時 (報告区分：21)				最終請求時 (報告区分：22)				初回未完了時 (報告区分：25)	平成29年度以前 記録不可	データ型(属性値)	XMLデータ型	最大文字数	項目値(コード値)の範囲 ※4	上限、下限の範囲	単位	XMLパターン (※1)	備考									
			積極的支援	動機づけ支援	動機づけ支援相当	積極的支援	動機づけ支援	動機づけ支援相当					積極的支援 H24年度	積極的支援 H25年度	動機づけ支援	動機づけ支援相当	積極的支援 H24年度	積極的支援 H25年度	動機づけ支援	動機づけ支援相当																			
1101	90010	指導共通情報	○	○	○				○	-	1020000001	保健指導区分	○	○	○	○					○	-	コード(半角)	CD	1	1～23			1	1：積極的支援、2：動機づけ支援、3：動機づけ支援相当(平成29年度以前に設定されている場合エラー L2424とする)									
1102											1020000002	行動変容ステージ																○	-	コード(半角)	CD	1	1～5			1	1：意欲なし、2：意欲あり(6ヶ月以内)、3：意欲あり(近いうち)、4：記録済み(6ヶ月未満)、5：記録済み(6ヶ月以上)		
1103											1020000003	保健指導コース名																	-	文字列(全角)	ST	32					1		
1301	90020	指導初回1情報(初回面談実施情報)	○									初回面談1の実施日付									○	○	年月日(全角)		8					3	YYYYMMDD形式								
1302												初回面談1による支援の支援形態																○	○	コード(半角)		1	1～5			2	1：個別支援、2：グループ支援、5：遠隔面談「3：電話」「4：電子メール支援」が設定されている場合エラー L2301とする ただし、平成29年度以前に「3：電話」「4：電子メール支援」「5：遠隔面談」が設定されている場合エラー L2424とする		
1303												×						×	○	○	1022000013	初回面談1の実施時間							○	○	数字(半角)		3	0～999	min	1			
1304																						初回面談1の実施者							○	○	コード(半角)		1	1～4			4	1：医師、2：保健師、3：管理栄養士、4：その他	
																						保健指導機関番号								○	○	数字(半角)		10				5	平成30年度以降に設定されていない場合エラー L2430とする 平成29年度以前に設定されている場合エラー L2423とする
																						保健指導機関名称								○	○	文字列(全角)		20				6	平成30年度以降に設定されていない場合エラー L2430とする 平成29年度以前に設定されている場合エラー L2423とする
1305																						1022000090	初回面談情報							文字列(全角)	ST	256					1	平成29年度以前に設定されている場合エラー L2423とする	
1306	90020	指導初回1情報(保健指導計画情報)																				1021000020	継続的支援予定期間							○		数字(半角)	PQ	2	0～99	wk	1		
1307																						1021001031	目標範囲							○		数字(半角)	PQ	5	0.0～999.9	cm	1		
1308																						1021001032	目標体重							○		数字(半角)	PQ	5	0.0～999.9	kg	1		
1309																						1021001033	目標収縮期血圧							○		数字(半角)	PQ	3	0～999	mm [Hg]	1		
1310																						1021001034	目標拡張期血圧							○		数字(半角)	PQ	3	0～999	mm [Hg]	1		
1311																						1021001050	一日の削減目標エネルギー量							○		数字(半角)	PQ	4	0～9999	kcal	1		
1312																						1021001051	一日の運動による目標エネルギー量							○		数字(半角)	PQ	4	0～9999	kcal	1		
1313																						1021001052	一日の食事による目標エネルギー量							○		数字(半角)	PQ	4	0～9999	kcal	1		
1301	90030	指導初回情報(初回面談実施情報)	○	○	○							初回面談の実施日付	○	○	○	○							-	-	年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式							
1302												初回面談による支援の支援形態	○	○	○	○													-	-	コード(半角)		1	1～5			2	A 利用券整理番号の3桁目が「5」且つ、初回指導1情報セクション(90020)の記録が存在する場合、以下の何れかに設定されること ・1：個別支援、2：グループ支援、3：電話、4：電子メール支援、5：遠隔面談 B Aを満たさない場合、以下の何れかに設定されること 1：個別支援、2：グループ支援、5：遠隔面談 ただし、「3：電話、4：電子メール支援」のコード値が記録された場合、エラーL2301とする C 平成29年度以前に「3：電話、4：電子メール支援、5：遠隔面談」のいずれかが設定される場合、エラーL2424とする。 なお、下記以外のコード値が記録された場合、エラーL2405とする 「初回面談による支援の支援形態」の定義 1：個別支援 2：グループ支援 3：電話 4：電子メール支援	
1303																						1022000013	初回面談の実施時間	○	○	○	○				-	数字(半角)		3	0～999	min	1		
1304																							初回面談の実施者	○	○	○	○				-	コード(半角)		1	1～4			4	1：医師、2：保健師、3：管理栄養士、4：その他
																							保健指導機関番号			○	○				○	数字(半角)		10				5	平成30年度以降に設定されていない場合エラー L2430とする 平成29年度以前に設定されている場合エラー L2423とする
																							保健指導機関名称			○	○				○	文字列(全角)		20				6	平成30年度以降に設定されていない場合エラー L2430とする 平成29年度以前に設定されている場合エラー L2423とする
1305																						1022000090	初回面談情報								○	文字列(全角)	ST	256				1	平成29年度以前に設定されている場合エラー L2423とする
1306	90030	指導初回情報(保健指導計画情報)									○									1021000020	継続的支援予定期間	○	○									数字(半角)	PQ	2	0～99	wk	1		
1307																				1021001031	目標範囲										数字(半角)	PQ	5	0.0～999.9	cm	1			
1308																				1021001032	目標体重										数字(半角)	PQ	5	0.0～999.9	kg	1			
1309																				1021001033	目標収縮期血圧										数字(半角)	PQ	3	0～999	mm [Hg]	1			
1310																				1021001034	目標拡張期血圧										数字(半角)	PQ	3	0～999	mm [Hg]	1			
1311																				1021001050	一日の削減目標エネルギー量										数字(半角)	PQ	4	0～9999	kcal	1			
1312																				1021001051	一日の運動による目標エネルギー量										数字(半角)	PQ	4	0～9999	kcal	1			
1313																				1021001052	一日の食事による目標エネルギー量										数字(半角)	PQ	4	0～9999	kcal	1			

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色欄向け、青字で表示
※ 最新バージョンに伴う関係自治体のチェック仕様の変更については、黄色欄向け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係自治体としてチェックを行わない」ことを示す）
※ 既存の関係自治体に関しては、黄緑色で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係自治体としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定保健指導項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、～)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、～)に自動補正を行う。	-	-	-
2	セクションコードに対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目が当該報告区分の時に必ず存在すること ×：当該項目が当該報告区分の時に存在しないこと	受付不可	L2101 L2113	○：データファイルに必須の(セクション)名セクションコードが記録されていません。 ×：記録が認められていないNOが記録されています。[NO1]
3	保健指導項目に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※1参照) ※：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること、ただし、欄が存在する場合は除く ■：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、欄が存在する場合は除く △：セット券の場合	受付不可	O:L2101 O:L2101 O:L2101 ■:L2101	O:データファイルの(項目名)が記録されていません。 O:データファイルの(同一格属性)が記録されていません。 O:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ■:データファイルの(項目名)が記録されていません。
4	複数記録が許されない項目が複数記録されている。	受付不可	L2105	重複が許されない項目が複数記録されています。[項目名]
5	1特定保健指導データファイル内で保健指導項目コードが重複して記録されている。	受付不可	L2107	特定保健指導結果集報域内に重複した保健指導項目コード(欄)が存在します。
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されています。[欄]
7	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている	受付不可	L2206	(項目名)に属したXMLデータ型が記録されています。属(属)正(属)
8	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超過している	受付不可	L2202	固定長(CD等)：データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[欄] 可変長(ST等)：データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[欄]
9	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	
10	上限・下限が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「範囲最小値」≧「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(「下限値」～「上限値」)外の値が記録されています。[欄]
11	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※：範囲内とは、「下限値(20ポイント、160ポイント)」≧「記録された値」≦「上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(「下限値」～「上限値」)外の値が記録されています。[欄]
12	平成29年度以前において、記録不可のセクションが設定されている	受付不可	L2423	対象健康診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルのセクションコードが記録されています。
13	平成29年度以前において、記録不可の項目が設定されている	受付不可	L2423	対象健康診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
14	平成29年度以前において、記録不可の項目値(コード値)が設定されている	受付不可	L2424	対象健康診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。[欄]
15	平成30年度以降において、記録必須の項目が設定されていない	受付不可	L2430	対象健康診年度が平成30年度以降において、データファイルの(項目名)が記録されていません。
16	属したコード値が設定されている	受付不可	L2301	データファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。[欄]

(注意1) 下記の保健指導項目以外についてはチェックを行わない
(注意2) ・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」未満の場合、対象健康診年度を平成24年度以前とする。
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」以上の場合、対象健康診年度を平成25年度以降とする。
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号が取得できなかった場合、対象健康診年度を平成25年度以降とする。
■平成29年度以前と平成30年度以降との年度判定方法
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「18」未満の場合、対象健康診年度を平成29年度以前とする。
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「18」以上の場合、対象健康診年度を平成30年度以降とする。
※：特定保健指導データファイルの利用券整理番号が不正な値又は取得出来なかった場合、平成30年度以降の対象健康診年度と判定する。

番号	セクションコード	セクション名	初回請求時 (報告区分：21)			最終請求時 (報告区分：22)			初回未完了時 (報告区分：25)	平成29年度以前 記録不可	項目コード	項目名	初回請求時 (報告区分：21)				最終請求時 (報告区分：22)				初回未完了時 （報告区分：25）	平成29年度以前 記録不可	データ型(属性)	XMLデータ型	最大文字数	項目値(コード値)の範囲 ※4	上限、下限の範囲	単位	XMLパターン (※1)	備考			
			積極的支援	動機づけ支援	動機付け支援情報	積極的支援	動機づけ支援	動機付け支援情報					積極的支援 H24年度	積極的支援 H25年度	動機づけ支援	動機付け支援情報	積極的支援 H24年度	積極的支援 H25年度	動機づけ支援	動機付け支援情報													
1501	90050	中間評価情報										中間評価の実施日付												8				3	YYYYMMDD形式				
1502												中間評価の実施形態												1	1,3,4,6			2	1：個別支援A、3：グループ支援、4：電話A、6：電子メール支援A				
1503											1032000013	中間評価の実施時間												3	0～999	min		1					
1504											1032000014	中間評価の実施ポイント											INT	4	0～9999			1					
1505												中間評価の実施者												1	1～4			4	1：医師、2：保健師、3：管理栄養士、4：その他				
1506											1032001031	中間評価時の課題											PQ	5	0.0～999.9	cm		1					
1507											1032001032	中間評価時の体重											PQ	5	0.0～999.9	kg		1					
1508											1032001033	中間評価時の収縮期血圧											PQ	3	0～999	mm [Hg]		1					
1509											1032001034	中間評価時の拡張期血圧											PQ	3	0～999	mm [Hg]		1					
1510											1032001042	中間評価時の生活習慣の改善（栄養・食生活）											CD	1	0～2			1	0：変化なし、1：改善、2：悪化				
1511											1032001041	中間評価時の生活習慣の改善（身体活動）											CD	1	0～2			1	0：変化なし、1：改善、2：悪化				
1512											1032001043	中間評価時の生活習慣の改善（喫煙）											CD	1	1～4			1	1：禁煙継続、2：非継続、3：非喫煙、4：禁煙の意志なし				
												保健指導機関番号												数字 (半角)	10				5	平成29年度以前は任意項目（空白）として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目（○）とする （データ型（属性）、最大文字数チェックは年度に關係なく、記録されている場合は実施する）			
												保健指導機関名称												文字列 (全角)	20				6	平成29年度以前は任意項目（空白）として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目（○）とする （データ型（属性）、最大文字数チェックは年度に關係なく、記録されている場合は実施する）			
1513											1032001090	中間評価情報												文字列 (全角)	ST	256			1	平成29年度以前に設定されている場合エラー L2423とする			
1411	90040	継続支援情報（支援A-1情報）										支援A-1の実施日付												年月日 (年月)	8				3	YYYYMMDD形式			
1412												支援A-1の実施形態												コード (年月)	1	1,3,4,6			2	1：個別支援A、3：グループ支援、4：電話A、6：電子メール支援A			
1413											1032100013	支援A-1の実施時間												数字 (年月)	3	0～999	min		1				
1414											1032100014	支援A-1の実施ポイント												数字 (年月)	INT	4	0～9999			1			
1415												支援A-1の実施者												コード (年月)	1	1～4			4	1：医師、2：保健師、3：管理栄養士、4：その他			
												保健指導機関番号												数字 (半角)	10				5	平成29年度以前は任意項目（空白）として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目（○）とする （データ型（属性）、最大文字数チェックは年度に關係なく、記録されている場合は実施する）			
												保健指導機関名称												文字列 (全角)	20				6	平成29年度以前は任意項目（空白）として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目（○）とする （データ型（属性）、最大文字数チェックは年度に關係なく、記録されている場合は実施する）			
1416											1032100090	支援A-1情報												文字列 (全角)	ST	256			1	平成29年度以前に設定されている場合エラー L2423とする			
1421	90040	継続支援情報（支援A-2情報）										支援A-2の実施日付												年月日 (年月)	8				3	YYYYMMDD形式			
1422												支援A-2の実施形態												コード (年月)	1	1,3,4,6			2	1：個別支援A、3：グループ支援、4：電話A、6：電子メール支援A			
1423											1032100013	支援A-2の実施時間												数字 (年月)	3	0～999	min		1				
1424											1032100014	支援A-2の実施ポイント												数字 (年月)	INT	4	0～9999			1			
1425												支援A-2の実施者												コード (年月)	1	1～4			4	1：医師、2：保健師、3：管理栄養士、4：その他			
												保健指導機関番号												数字 (半角)	10				5	平成29年度以前は任意項目（空白）として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目（○）とする （データ型（属性）、最大文字数チェックは年度に關係なく、記録されている場合は実施する）			
												保健指導機関名称												文字列 (全角)	20				6	平成29年度以前は任意項目（空白）として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目（○）とする （データ型（属性）、最大文字数チェックは年度に關係なく、記録されている場合は実施する）			
1426											1032100090	支援A-2情報												文字列 (全角)	ST	256			1	平成29年度以前に設定されている場合エラー L2423とする			
1431	90040	継続支援情報（支援A-3情報）										支援A-3の実施日付												年月日 (年月)	8				3	YYYYMMDD形式			
1432												支援A-3の実施形態												コード (年月)	1	1,3,4,6			2	1：個別支援A、3：グループ支援、4：電話A、6：電子メール支援A			
1433											1032100013	支援A-3の実施時間												数字 (年月)	3	0～999	min		1				
1434											1032100014	支援A-3の実施ポイント												数字 (年月)	INT	4	0～9999			1			
1435												支援A-3の実施者												コード (年月)	1	1～4			4	1：医師、2：保健師、3：管理栄養士、4：その他			
												保健指導機関番号												数字 (半角)	10				5	平成29年度以前は任意項目（空白）として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目（○）とする （データ型（属性）、最大文字数チェックは年度に關係なく、記録されている場合は実施する）			
												保健指導機関名称												文字列 (全角)	20				6	平成29年度以前は任意項目（空白）として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目（○）とする （データ型（属性）、最大文字数チェックは年度に關係なく、記録されている場合は実施する）			
1436											1032100090	支援A-3情報												文字列 (全角)	ST	256			1	平成29年度以前に設定されている場合エラー L2423とする			
1441	90040	継続支援情報（支援A-4情報）										支援A-4の実施日付												年月日 (年月)	8				3	YYYYMMDD形式			
1442												支援A-4の実施形態												コード (年月)	1	1,3,4,6			2	1：個別支援A、3：グループ支援、4：電話A、6：電子メール支援A			
1443											1032100013	支援A-4の実施時間												数字 (年月)	3	0～999	min		1				
1444											1032100014	支援A-4の実施ポイント												数字 (年月)	INT	4	0～9999			1			
1445												支援A-4の実施者												コード (年月)	1	1～4			4	1：医師、2：保健師、3：管理栄養士、4：その他			
												保健指導機関番号												数字 (半角)	10				5	平成29年度以前は任意項目（空白）として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目（○）とする （データ型（属性）、最大文字数チェックは年度に關係なく、記録されている場合は実施する）			
												保健指導機関名称												文字列 (全角)	20				6	平成29年度以前は任意項目（空白）として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目（○）とする （データ型（属性）、最大文字数チェックは年度に關係なく、記録されている場合は実施する）			
1446											1032100090	支援A-4情報												文字列 (全角)	ST	256			1	平成29年度以前に設定されている場合エラー L2423とする			
1451	90040	継続支援情報（支援B-1情報）										支援B-1の実施日付												年月日 (年月)	8				3	YYYYMMDD形式			
1452												支援B-1の実施形態												コード (年月)	1	2,5,7			2	2：個別支援B、5：電話B、7：電子メール支援B			
1453											1032200013	支援B-1の実施時間												数字 (年月)	3	0～999	min		1				
1454											1032200014	支援B-1の実施ポイント												数字 (年月)	INT	4	0～9999			1			
1455												支援B-1の実施者												コード (年月)	1	1～4			4	1：医師、2：保健師、3：管理栄養士、4：その他			
												保健指導機関番号												数字 (半角)	10				5	平成29年度以前は任意項目（空白）として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目（○）とする （データ型（属性）、最大文字			

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、赤字で表示
※ 最新バージョンに伴う国保独自のチェック仕様の変更については、黄色網掛け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
※ 既存の国保独自仕様に関しては、網掛けなし、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを国保独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定保健指導項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(～、～)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(～、～)に自動補正を行う。	-	-	-
2	セクションコードに対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目が当該報告区分の時に必ず存在すること ×：当該項目が当該報告区分の時に存在しないこと	受付不可	L2101 L2113	O:データファイルに必須の(セクション名)セクションコードが記録されています。 X:記録が認められていないNOが記録されています。[NO]
3	保健指導項目に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※1参照) □：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内にいずれか1つ以上、項目が存在すること ■：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、■が存在する場合は除く △：セット券の場合。	受付不可	O:L2101 O:L2101 □:L2101 ■:L2101	O:データファイルの(項目名)が記録されていません。 O:データファイルの(同一姓項目名)が記録されていません。 □:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ■:データファイルの(項目名)が記録されていません。
4	複数記録が許されない項目が複数記録されている。	受付不可	L2105	重複が許されない項目が複数記録されています。[項目名]
5	1 特定保健指導データファイル内で保健指導項目コードが重複して記録されている。	受付不可	L2107	特定保健指導結果情報内に重複した保健指導項目コード[値]が存在します。
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]
7	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている	受付不可	L2206	(項目名)に属したXMLデータ型が記録されています。属(属)正(値)
8	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	固定長(10等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長(ST等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
9	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	
10	上限・下限が指定されている項目において、項目値が範囲外	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((下限値)～(上限値))外の値が記録されています。[値]
11	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※.範囲内とは、「下限値(20ポイント、160ポイント)」≦「記録された値」≦「上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((下限値)～(上限値))外の値が記録されています。[値]
12	平成29年度以前において、記録不可のセクションが設定されている	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルのセクションコードが記録されています。
13	平成29年度以前において、記録不可の項目が設定されている	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
14	平成29年度以前において、記録不可の項目値(コード値)が設定されている	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。[値]
15	平成30年度以降において、記録必須の項目が設定されていない	受付不可	L2430	対象健診年度が平成30年度以降において、データファイルの(項目名)が記録されていません。
16	属したコード値が設定されている	受付不可	L2301	データファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。[値]

(注意1) 下記の保健指導項目以外についてはチェックを行わない
(注意2) ・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」未満の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」以上の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
■平成29年度以前と平成30年度以降との年度判定方法
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「18」未満の場合、対象健診年度を平成29年度以前とする。
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「18」以上の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。
※ 特定保健指導データファイルの利用券整理番号が不正な値又は取得出来なかった場合、平成30年度以降の対象健診年度と判定する。

番号	セクションコード	セクション名	初回請求時 (報告区分：21)			最終請求時 (報告区分：22)			初回未完了時 (報告区分：25)	平成29年度以前 記録不可	項目コード	項目名	初回請求時 (報告区分：21)				最終請求時 (報告区分：22)				初回未完了時 (報告区分：25)	平成29年度以前 記録不可	データ型(属性)	XMLデータ型	最大文字数	項目値(コード値)の範囲 ※4	上限、下限の範囲	単位	XMLバージョン (※1)	備考
			積極的支援	動機づけ支援	動機付け支援相当	積極的支援	動機づけ支援	動機付け支援相当					積極的支援 H24年度	積極的支援 H25年度	動機づけ支援	動機付け支援相当	積極的支援 H24年度	積極的支援 H25年度	動機づけ支援	動機付け支援相当										
												保健指導機関番号						○	○	○		-	数字 (半角)		10			5	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする (「データ型(属性)」、最大文字数チェックは年度に関係なく、記録されている場合は実施する)	
												保健指導機関名称						○	○	○		-	文字列 (全角)		20			6	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする (「データ型(属性)」、最大文字数チェックは年度に関係なく、記録されている場合は実施する)	
1486											1032200090	支援B4情報									○	文字列 (全角)	ST	256				1	平成29年度以前に設定されている場合エラーL2423とする	

※ 最新バージョンに伴う支払基金と共通のチェック仕様の変更については、黄色欄向け、青字で表示
※ 最新バージョンに伴う関係項目のチェック仕様の変更については、黄色欄向け、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）
※ 既存の関係独自仕様に関しては、撤廃けなし、青字で表示（取消線は「支払基金との共通チェックを関係独自仕様としてチェックを行わない」ことを示す）

●特定保健指導項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、～)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、～)に自動補正を行う。	-	-	-
2	セクションコードに対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目が当該報告区分の時に必ず存在すること ×：当該項目が当該報告区分の時に存在しないこと	受付不可	L2101 L2113	○：データファイルに必須の(セクション名)セクションコードが記録されていません。 ×：記録が認められていないNOが記録されています。[NO]
3	保健指導項目に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※1参照) □：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること ■：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、■が存在する場合は除く △：当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、□が存在する場合は除く ▲：セット券の場合	受付不可	O:L2101 O:L2101 O:L2101 ■:L2101	O:データファイルの(項目名)が記録されていません。 O:データファイルの(同一姓項目名)が記録されていません。 O:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ■:データファイルの(項目名)が記録されていません。
4	複数記録が許されない項目が複数記録されている。	受付不可	L2105	重複が許されない項目が複数記録されています。[項目名]
5	1特定保健指導データファイル内で保健指導項目コードが重複して記録されている。	受付不可	L2107	特定保健指導結果情報内に重複した保健指導項目コード(値)が存在します。
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式)(形式)で記録されていません。[値]
7	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている	受付不可	L2206	(項目名)に属したXMLデータ型が記録されています。属(属)正(値)
8	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	固定長(10等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長(ST等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
9	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	
10	上限・下限が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※ 範囲内とは、「範囲最小値」≧「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(下限値)～(上限値)外の値が記録されています。[値]
11	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※ 範囲内とは、「下限値(20ポイント、160ポイント)」≦「記録された値」≦「上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(下限値)～(上限値)外の値が記録されています。[値]
12	平成29年度以前において、記録不可のセクションが設定されている	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
13	平成29年度以前において、記録不可の項目が設定されている	受付不可	L2423	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)が記録されています。
14	平成29年度以前において、記録不可の項目値(コード値)が設定されている	受付不可	L2424	対象健診年度が平成29年度以前において、記録が認められていないデータファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。[値]
15	平成30年度以降において、記録必須の項目が設定されていない	受付不可	L2430	対象健診年度が平成30年度以降において、データファイルの(項目名)が記録されていません。
16	属したコード値が設定されている	受付不可	L2301	データファイルの(項目名)に属したコード値が記録されています。[値]

(注意1)下記の保健指導項目以外についてはチェックを行わない
(注意2)
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」未満の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」以上の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
■平成29年度以前と平成30年度以降との年度判定方法
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「18」未満の場合、対象健診年度を平成29年度以前とする。
・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「18」以上の場合、対象健診年度を平成30年度以降とする。
※ 特定保健指導データファイルの利用券整理番号が不正な値又は取得出来なかった場合、平成30年度以降の対象健診年度と判定する。

番号	セクションコード	セクション名	初回請求時 (報告区分：21)			最終請求時 (報告区分：22)			初回未完了時 (報告区分：25)	平成29年度以前 記録不可	項目コード	項目名	初回請求時 (報告区分：21)				最終請求時 (報告区分：22)				初回未完了時 以降 (報告区分：25)	平成29年度以前 記録不可	データ型(属性)	XML データ型	最大 文字数	項目値(コード 値)の範囲 ※4	上限、下限 の範囲	単位	XMLパ ターン (※1)	備考		
			積極的 支援	動機 づけ 支援	動機 付け 支援 相当	積極的 支援	動機 づけ 支援	動機 付け 支援 相当					積極的 支援 H24年度	積極的 支援 H25年度	動機 づけ 支援	動機 付け 支援 相当	積極的 支援 H24年度	積極的 支援 H25年度	動機 づけ 支援	動機 付け 支援 相当												
1601	90060	最終評価情報(6ヶ月評価 継続)										最終評価の実施日付					□	□	□	□	-				8			3	YYYYMMDD形式			
1602												最終評価の支援形態又は確認方法					□	□	□	□	-				1	1～4		2	1：個別支援、2：グループ支援、3：電話、4：電子メール支援			
1603												最終評価の実施者					□	□	□	□	-				1	1～4		4	1：医師、2：保健師、3：管理栄養士、4：その他			
1604											1042000116	最終評価ができない場合の確認回数	■	■	■	■								INT	2	0～99			1			
1605											1042001031	最終評価時の腰痛					□	□	□	□	-				5	0.0～999.9	cm	1				
1606											1042001032	最終評価時の体重					□	□	□	□	-				5	0.0～999.9	kg	1				
1607											1042001033	最終評価時の収縮期血圧													3	0～999	mm [Hg]	1				
1608											1042001034	最終評価時の拡張期血圧													3	0～999	mm [Hg]	1				
1609											1042001042	最終評価時の保健指導による生活習慣の改善(栄養・食生活)					□	□	□	□	-				CD	1	0～2		1	0：変化なし、1：改善、2：悪化		
1610											1042001041	最終評価時の保健指導による生活習慣の改善(身体活動)					□	□	□	□	-				CD	1	0～2		1	0：変化なし、1：改善、2：悪化		
1611											1042001043	最終評価時の保健指導による生活習慣の改善(喫煙)													CD	1	1～4		1	1：禁煙継続、2：非継続、3：非喫煙、4：禁煙の意志なし		
												保健指導機関番号													10				5	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする (データ型(属性)、最大文字数チェックは年度に関係なく、記録されている場合は実施する)		
												保健指導機関名称													20				6	平成29年度以前は任意項目(空白)として必須チェックは行わず、平成30年度以降は記録必須項目(○)とする (データ型(属性)、最大文字数チェックは年度に関係なく、記録されている場合は実施する)		
1612											1042001090	実績評価情報																1	平成29年度以前に設定されている場合エラー L2423とする			
1701	90070	指導案計情報(計画案計 情報)										1041800117	計画上の継続的な支援の実施回数	○	○													3	0～999		1	
1702												1041101117	計画上の継続的な支援の実施回数(個別支援A)															3	0～999		1	
1703												1041302117	計画上の継続的な支援の実施回数(グループ支援)															3	0～999		1	
1704												1041103117	計画上の継続的な支援の実施回数(電話Aによる支援)															3	0～999		1	
1705												1041104117	計画上の継続的な支援の実施回数(e-mailAによる支援)															3	0～999		1	
1706												1041201117	計画上の継続的な支援の実施回数(個別支援B)															3	0～999		1	
1707												1041203117	計画上の継続的な支援の実施回数(電話Bによる支援)															3	0～999		1	
1708												1041204117	計画上の継続的な支援の実施回数(e-mailBによる支援)															3	0～999		1	
1709												1041101113	計画上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援A)															3	0～999	min	1	
1710												1041302113	計画上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援)															3	0～999	min	1	
1711												1041103113	計画上の継続的な支援の合計実施時間(電話Aによる支援)															3	0～999	min	1	
1712												1041201113	計画上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援B)															3	0～999	min	1	
1713												1041203113	計画上の継続的な支援の合計実施時間(電話Bによる支援)															3	0～999	min	1	
1714												1041100114	計画上の継続的な支援によるポイント(支援A)	○	○													4	0～9999	0～9999	1	・「積極的支援」において、項目値が160未満の場合エラー L2405とする
1715												1041200114	計画上の継続的な支援によるポイント(支援B)	○														4	0～9999	20～9999 0～9999	1	対象健診年度が平成24年度以前の場合 対象健診年度が平成25年度以降の場合
1716												1041800114	計画上の継続的な支援によるポイント(合計)	○	○													4	0～9999	0～9999	1	・対象健診年度が平成25年度以降の場合 ・「積極的支援」において、項目値が180未満の場合エラー L2405とする
1731	90070	指導案計情報(実施済み 案計情報)										1042800117	実施上の継続的な支援の実施回数					○	○									3	0～999		1	
1732												1042101117	実施上の継続的な支援の実施回数(個別支援A)															3	0～999		1	
1733												1042302117	実施上の継続的な支援の実施回数(グループ支援)															3	0～999		1	
1734												1042103117	実施上の継続的な支援の実施回数(電話Aによる支援)															3	0～999		1	
1735												1042104117	実施上の継続的な支援の実施回数(e-mailAによる支援)															3	0～999		1	
1736												1042201117	実施上の継続的な支援の実施回数(個別支援B)															3	0～999		1	
1737												1042203117	実施上の継続的な支援の実施回数(電話Bによる支援)															3	0～999		1	
1738												1042204117	実施上の継続的な支援の実施回数(e-mailBによる支援)															3	0～999		1	
1739												1042101113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援A)															3	0～999	min	1	
1740												1042302113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援)															3	0～999	min	1	
1741												1042103113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(電話Aによる支援)															3	0～999	min	1	
1742												1042201113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援B)															3	0～999	min	1	
1743												1042203113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(電話Bによる支援)															3	0～999	min	1	
1744												1042100114	継続的な支援によるポイント(支援A)					○	○									4	0～9999	0～9999	1	・「積極的支援」において、項目値が160未満の場合エラー L2405とする
1745												1042200114	継続的な支援によるポイント(支援B)					○										4	0～9999	20～9999 0～9999	1	対象健診年度が平成24年度以前の場合 対象健診年度が平成25年度以降の場合 対象健診年度が平成24年度以前の場合 ・「積極的支援」において、項目値が180未満の場合エラー L2405とする
1746												1042800114	継続的な支援によるポイント(合計)					○	○									4	0～9999	0～9999	1	・「積極的支援」において、項目値が180未満の場合エラー L2405とする →決済情報ファイルの実施済みポイント数が0～179の場合、L2409が出力される →決済情報ファイルの実施済みポイント数と不一致の場合、L2418が出力される
1747												1042800118	健康指導の実施回数															3	0～999		1	
1748												1042000022	実施上の継続的な支援の終了日					○	○									8		1	YYYYMMDD形式	

※1 項目有無についてはXMLパターン別に下記のとおりとする

パターン	項目有無判定
1	当該セクション内に entry/act/entryRelationship/observation/code要素が存在し code属性に当該項目コードが存在すること
2	当該セクション内に entry/act/code要素が存在すること
3	当該セクション内に entry/act/effectiveTime要素が存在すること
4	当該セクション内に entry/act/performer/assignedEntity/code要素が存在すること
5	当該セクション内に entry/act/performer/assignedEntity/representedOrganization/id要素が存在すること
6	当該セクション内に entry/act/performer/assignedEntity/representedOrganization/name要素が存在すること

※2 途中終了「コード：233」の場合であって、項目及び項目値が記録されたときは上記チェックシートによりチェックする
ただし、継続的な支援によるポイントの下限チェックは行わない

※3 特定保健指導情報ファイルの利用券整理番号の上3桁目が5(セット券)且つ、初回面接情報①(90020)が存在する場合、エラーにしない

※3 同一の項目コードが記録されている場合、先頭の項目のみチェックを行う

※4 小数点を含む形式の場合、小数点以下は省略可能

注1 中間評価情報、継続支援情報、最終評価情報の保健指導機関番号、保健指導機関名は、平成29年度以前の特定健康診査に基づく当該保健指導を実施している保険者(又は保健指導機関)が継続的支援等の一部委託(又は再委託)している場合に記録される。
平成30年度以降の特定健康診査に基づく保健指導の場合は、必ず記録される。

(参考)名前空間(XMLインスタンスの定義)について

1. 各XMLファイルの名前空間

ファイル	root要素	xmlns属性	xmlns:xsi属性	xsi:schemaLocation属性
基本情報	index	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/ix08_V08.xsd
集計情報	summary	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/su08_V08.xsd
特定健診データ	ClinicalDocument	urn:hl7-org:v3	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd
特定健診決済情報	checkupClaim	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/cc08_V08.xsd
特定保健指導データ	ClinicalDocument	urn:hl7-org:v3	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	urn:hl7-org:v3 ../XSD/hg08_V08.xsd
特定保健指導決済情報	healthGuidanceClaim	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/gc08_V08.xsd

2. 記述例

例1)特定健診データファイルの場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  ...
</ClinicalDocument>
```

例2)特定健診決済情報ファイルの場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<checkupClaim xmlns="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/cc08_V08.xsd">
  ...
</checkupClaim>
```

補足資料①:XMLデータ型“PQ”、“CD”で構成される組み合わせに関わるチェックについて

XMLデータ型が“PQ”、“CD”で構成される組み合わせに対して発生するエラー出力パターンを、表1-1、表1-2に示す。

表1-1 エラー表示パターン表＜対象健診年度が平成24年度以前の場合＞

1個		2個			3個以上
PQ	CD	PQ	PQ	CD	
入力最小・最大値の範囲外	H、L以外	CD	CD	CD	
L2405	L2203	L2111	L2111	L2111	L2111

表1-2 エラー表示パターン表＜対象健診年度が平成25年度以降の場合＞

1個		2個				3個以上
PQ	CD	PQ		PQ	CD	
入力最小・最大値の範囲外		CD		PQ	CD	
L2420	L2420	入力最小・最大値の範囲内	入力最小・最大値の範囲外		L2111	L2111
		L2420	入力最大値以上	入力最小値以下		
			H以外	L以外		
			L2421	L2421		

■L2420

※対象健診年度が平成25年度以降の場合のみ

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)の検査結果データ型(xsi:type)が“PQ”で、結果(value)が入力最小・最大値の範囲外の場合、かつ、当該項目中に検査結果データ型(xsi:type)が“CD”の検査結果値(observation/value)が存在しない場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="2000" unit="mg/dL" />
</observation>
```

CDが記録されていない

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)が存在しない場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="CD" code="H" />
</observation>
```

PQが記録されていない

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)の検査結果データ型(xsi:type)が“PQ”で、結果(value)が入力最小・最大値の範囲内の場合、かつ、当該項目中に検査結果データ型(xsi:type)が“CD”の検査結果値(observation/value)が存在する場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="1999" unit="mg/dL" />
  <value xsi:type="CD" code="H" />
</observation>
```

結果(value)が入力最小・最大値の範囲内にもかかわらず、CDが記録されている

■L2421

※対象健診年度が平成25年度以降の場合のみ

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)の検査結果データ型(xsi:type)が“PQ”の結果(value)が入力最大値以上の場合で、かつ、当該項目中の検査結果データ型(xsi:type)が“CD”の検査結果値(observation/value)の結果(code)が“H”以外の場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="2000" unit="mg/dL" />
  <value xsi:type="CD" code="L" />
</observation>
```

最大値以上の場合は“H”

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)の検査結果データ型(xsi:type)が“PQ”の結果(value)が入力最小値以下の場合で、かつ、当該項目中の検査結果データ型(xsi:type)が“CD”の検査結果値(observation/value)の結果(code)が“L”以外の場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="10" unit="mg/dL" />
  <value xsi:type="CD" code="H" />
</observation>
```

最小値以下の場合は“L”

補足資料②:HbA1c検査結果値の国際標準規格に関するチェックについて

HbA1cの検査結果値(JDS値又はNGSP値)に関連するJLAC10コード一覧を表2-1に、対象健診年度におけるHbA1cの検査結果値のバターンにおけるチェック結果を、表2-2に示す。

表2-1 HbA1cの検査結果値に関連するJLACコード一覧

項番	JLAC10コード	項目名
1	9N141000000000011	採血時間(食後)
2	3D010000001926101	空腹時血糖(電位差法(ブドウ糖酸化酵素電極法))
3	3D010000002227101	空腹時血糖(可視吸光光度法(ブドウ糖酸化酵素法))
4	3D010000001927201	空腹時血糖(紫外吸光光度法(ヘキシキナーゼ法、グルコキナーゼ法、ブドウ糖脱水素酵素法))
5	3D010000001999901	空腹時血糖(その他)
6	3D045000001906202	HbA1c(免疫学的方法(ラテックス凝集比濁法等))(JDS値)
7	3D045000001920402	HbA1c(HPLC(不安定分画除去HPLC法))(JDS値)
8	3D045000001927102	HbA1c(酵素法)(JDS値)
9	3D045000001999902	HbA1c(その他)(JDS値)
10	3D046000001906202	HbA1c(免疫学的方法(ラテックス凝集比濁法等))(NGSP値)
11	3D046000001920402	HbA1c(HPLC(不安定分画除去HPLC法))(NGSP値)
12	3D046000001927102	HbA1c(酵素法)(NGSP値)
13	3D046000001999902	HbA1c(その他)(NGSP値)

表2-2 HbA1cの検査結果

対象健診年度	HbA1cの検査結果値	結果
平成24年度以前	JDS値*1	正常
	NGSP値*2	L2422
平成25年度以降	JDS値*1	L2422
	NGSP値*2	正常

(注) *1 表2-1の項番6～9
*2 表2-1の項番10～13

■L2422

- 対象健診年度が平成24年度以前の場合にて、HbA1cの検査結果にNGSP値が記録されている場合、当該エラーとする。
- 対象健診年度が平成25年度以降の場合にて、HbA1cの検査結果にJDS値が記録されている場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3D045000001906202" displayName="HbA1c"/>
  <value xsi:type="PQ" value="" unit="%"/>
  <interpretationCode code="" value="" unit=""/>
  ....
</observation>
```

検査結果がNGSP値の場合は
"3D046000001906202"

■L2101

- 対象健診年度が平成24年度以前の場合にて、項番2～9の内、いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在しなかった場合、当該エラーとする。
- 対象健診年度が平成25年度以降の場合にて、項番2～5、10～13の内、いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在しなかった場合、当該エラーとする。

■L2401

- 項番1が未実施以外で存在し、かつ項番2～5がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合で、かつ項番1の項目値が"2"(食後10時間以上)でない場合、当該エラーとする。ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く。
 - 対象健診年度が平成24年度以前の場合にて、項番6～9がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合
 - 対象健診年度が平成25年度以降の場合にて、項番10～13がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合